

東秩父村新庁舎建設工事

[illegible]

		特記	工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
			図面名称 図面リスト			機械設備	M-000

●一般共通事項	●耐震措置	建築設備の耐震区分は、建設大臣官庁官庁官廳部監修「官庁施設の総合耐震計画基準および同解説（最新版）」における「甲種」とする。 設計用水平震度選定における分類は、「特定の施設」とする。 ■特定の施設の場合の設計用水平震度 <table><tr><td>設置場所</td><td>上層階と屋上及び塔屋</td><td>中 間 階</td><td>1階及び地下階</td></tr><tr><td>重要機器</td><td>2. 0 (2. 0)(2. 0)</td><td>1. 5 (1. 5)(1. 5)</td><td>1. 0 (1. 0)(1. 5)</td></tr><tr><td>一般機器</td><td>1. 5 (2. 0)</td><td>1. 5 (1. 5)(1. 5)</td><td>0. 6 (1. 0)(1. 0)</td></tr></table> (注) ()、< >のない数値は、固定の機器の場合に適用する。 () 内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は、水槽類に適用する。 ※上層階とは、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階を指す。 中間階とは、地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合はなし） 重要機器、水槽類は次のものを示す。 重要機器（ 冷凍機 ・ 蒸気ボイラー ・ 冷却塔 ） 水 槽 類（ ●受水槽 ・ 貯湯槽 ・ 還水槽 ）	設置場所	上層階と屋上及び塔屋	中 間 階	1階及び地下階	重要機器	2. 0 (2. 0)(2. 0)	1. 5 (1. 5)(1. 5)	1. 0 (1. 0)(1. 5)	一般機器	1. 5 (2. 0)	1. 5 (1. 5)(1. 5)	0. 6 (1. 0)(1. 0)	●耐震対策計算書	機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を係員に提出すること。																											
	設置場所	上層階と屋上及び塔屋	中 間 階	1階及び地下階																																							
	重要機器	2. 0 (2. 0)(2. 0)	1. 5 (1. 5)(1. 5)	1. 0 (1. 0)(1. 5)																																							
	一般機器	1. 5 (2. 0)	1. 5 (1. 5)(1. 5)	0. 6 (1. 0)(1. 0)																																							
	●地中埋設標準	(1) 地中埋設標準 ● 要(排水管を除く曲がり・分岐部全て) ○ 不要 (2) 埋設表示テープ ● 要(排水管を除く) ○ 不要																																									
	●絶縁フランジ	標準仕様書第2編第2章による。																																									
	●保温	標準仕様書第2編第3章による。 ●配管の保温外装 <table><tr><td>屋内露出（一般居室・廊下）</td><td>合成樹脂製カバー（シート）</td></tr><tr><td>屋内露出（倉庫等）</td><td>合成樹脂製カバー（シート）</td></tr><tr><td>屋内露出（一般機械室）</td><td>ALGC</td></tr><tr><td>屋内露出（主及び熱源機械室）</td><td>ALGC</td></tr><tr><td>天井内・パイプシャフト内・空腔壁中</td><td>ALGC化粧</td></tr><tr><td>床下・暗室内・トレンチ・床下ピット</td><td>着色ALGC</td></tr><tr><td>共同溝</td><td>着色ALGC</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>SUS</td></tr><tr><td>多湿箇所</td><td>SUS</td></tr></table> ●ダクト及び機器保温外装（A：保温板 B：保温帯） <table><tr><td>屋内露出（一般居室・廊下）</td><td>A カラーS</td></tr><tr><td>屋内露出（倉庫・倉庫）</td><td>A カラーS</td></tr><tr><td>屋内露出（一般機械室）</td><td>A ALGC化粧</td></tr><tr><td>屋内露出（主及び熱源機械室）</td><td>A ALGC化粧</td></tr><tr><td>屋内隠蔽・ダクトシャフト内</td><td>A ALGC化粧</td></tr><tr><td>消音内貼（サブライチャンバー）</td><td>A アルミバンチングメタル</td></tr><tr><td>消音内貼（消音エルボ・チャンバー）</td><td>A ガラスクロス</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>A SUS</td></tr><tr><td>多湿箇所</td><td>A SUS</td></tr></table> 注）円形ダクトの場合はAをBに読み替える 上表の仕上材については、ALGC：アルミガラスクロス、ALGC化粧：アルミガラスクロス化粧保温材、ALK：アルミホイルペーパー化粧保温材、防水麻布：防水麻布＋アスファルトプライマー、カラーS：カラー亜鉛鉄板、SUS：ステンレス鋼板、AL：アルミニウム板、ラス：きつ甲金網を示す。 ●多湿箇所 浴室（ ○ 露出 ● 天井内 ）【ユニットバスは除く】 脱衣室（ ○ 露出 ○ 天井内 ） 厨房（ ○ 露出 ○ 天井内 ） ○ 屋外露出部（○給水管 ○消火管 ○膨張管 ○ドレン管 ○冷水管 ○温水管 ○弁類を含む）は、防凍保温（凍結防止ヒーター巻き巻）を行う。 仕様は標準仕様書第2編3. 1. 4及び3. 1. 5とする。防凍保温厚さは、配管口径25mm以下は50mm、配管口径32mm以上は40mmとする。 ●屋内露出部 各配管、ダクト共に1F屋内りょう・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の仮想天井（スリット天井）内の保温外装は天井内仕様とする。	屋内露出（一般居室・廊下）	合成樹脂製カバー（シート）	屋内露出（倉庫等）	合成樹脂製カバー（シート）	屋内露出（一般機械室）	ALGC	屋内露出（主及び熱源機械室）	ALGC	天井内・パイプシャフト内・空腔壁中	ALGC化粧	床下・暗室内・トレンチ・床下ピット	着色ALGC	共同溝	着色ALGC			屋外露出	SUS	多湿箇所	SUS	屋内露出（一般居室・廊下）	A カラーS	屋内露出（倉庫・倉庫）	A カラーS	屋内露出（一般機械室）	A ALGC化粧	屋内露出（主及び熱源機械室）	A ALGC化粧	屋内隠蔽・ダクトシャフト内	A ALGC化粧	消音内貼（サブライチャンバー）	A アルミバンチングメタル	消音内貼（消音エルボ・チャンバー）	A ガラスクロス			屋外露出	A SUS	多湿箇所	A SUS	
	屋内露出（一般居室・廊下）	合成樹脂製カバー（シート）																																									
	屋内露出（倉庫等）	合成樹脂製カバー（シート）																																									
	屋内露出（一般機械室）	ALGC																																									
屋内露出（主及び熱源機械室）	ALGC																																										
天井内・パイプシャフト内・空腔壁中	ALGC化粧																																										
床下・暗室内・トレンチ・床下ピット	着色ALGC																																										
共同溝	着色ALGC																																										
屋外露出	SUS																																										
多湿箇所	SUS																																										
屋内露出（一般居室・廊下）	A カラーS																																										
屋内露出（倉庫・倉庫）	A カラーS																																										
屋内露出（一般機械室）	A ALGC化粧																																										
屋内露出（主及び熱源機械室）	A ALGC化粧																																										
屋内隠蔽・ダクトシャフト内	A ALGC化粧																																										
消音内貼（サブライチャンバー）	A アルミバンチングメタル																																										
消音内貼（消音エルボ・チャンバー）	A ガラスクロス																																										
屋外露出	A SUS																																										
多湿箇所	A SUS																																										
●塗装	(1) 下記室の保温を施さない露出ダクト、露出配管及び支持材料等で亜鉛メッキを施したものは、塗装を行わない。 ● 機械室 ○ 倉庫 (2) チャンバー類の室内外より見える範囲の内面塗装は、(● 要 ○ 不要)とする。 (3) 下記の金属電線管は標準仕様書第2編3. 2. 1による塗装を行う。																																										
●電線類	(1) 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2. 4. 1表4. 2. 12による。 (2) 機器付属屋内及び機器付属屋以降の配線並びに給湯器のリモコン用配線は製造者標準とする。																																										
●電線管	特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径で同じ電線管とする。 可とう電線管は金属製可とう電線管とする。																																										
●配管	ステンレス鋼管の場合は下記による。 ●呼び径60SU以下（SAS 322 ） ○呼び径75SU以上（ ）																																										
○はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる																																										
●合成樹脂製ナットキャップ	屋外に設置する機器のアンカーボルトのナット部には監理者が締付状態を確認後、錆防止のため合成樹脂製キャップを被せる。 (ボルト・ナットがSUS製の場合は、合成樹脂キャップ不要)																																										
●他工事との取り扱い	スリーブ、箱入れその他、他工事との取り合いは工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさを明示し、発注者及び監理者と打合せる。																																										
○凍結対策	屋外露出配管（給水・給湯・温泉）で凍結の恐れのある箇所については凍結防止対策を施す。 ○防凍保温及び凍結防止ヒーター巻き巻を行う。（屋外露出箇所）																																										
●電線	表示なき電線は、600Vビニール絶縁電線とする。 ただし、自動制御設備に係わる配線は共通仕様書による。																																										

●その他	●補強その他																																											
	○ピット内通気	必要に応じて3スパンに1箇所毎にVP100φをGL+300まで立上げ（先端防虫網付）																																										
	●保全に関する資料	●施工計画にて調整																																										
	●支持金物固定金具	(1) 屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製（SUS304）とする。 (2) 屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製（SUS304）又は、溶融亜鉛メッキ仕上げ（2種35）とする。																																										
	●防振支持	下記の設備機材の支持については防振支持を施す。 ● 機械室内の配管及びダクトの支持 ● モーターを所持する機器への支持 ● 屋上設置機器の支持 1）運転時に下記レベルになるよう請負者の責任施工とする。（当該地域基準より） <table><tr><td>屋外（境界線にて）</td><td>午前8時～午後7時まで</td><td>午前6時から午前8時まで</td><td>午後10時から</td></tr><tr><td></td><td></td><td>午後7時から午後10時まで</td><td>翌日の午前6時まで</td></tr><tr><td>第2種区域（都市計画区域外）</td><td>55dB(A)</td><td>50dB(A)</td><td>45dB(A)</td></tr><tr><td colspan="4">『埼玉県生活環境保全条例』より</td></tr><tr><td>居室（空調対象室）</td><td colspan="3">NC-40（目標値・カセット型及び露出機器は除く）</td></tr></table> 2）室内での許容騒音値は下記の数値以下を目標とする。 <table><tr><td>室 名</td><td>NC値</td><td>室 名</td><td>NC値</td></tr><tr><td>空調（冷暖房）対象室</td><td>40</td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>設定なし</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※機器露出（カセット形室内機等）の室は対象外とする。 ○ 別途工事 ○ 本工事 対象溶接部の種類 ： 突き合わせ溶接部 検査の種類 ： 放射線透過検査（RT） 検査対象配管 ： 抜き取率 ： 5%	屋外（境界線にて）	午前8時～午後7時まで	午前6時から午前8時まで	午後10時から			午後7時から午後10時まで	翌日の午前6時まで	第2種区域（都市計画区域外）	55dB(A)	50dB(A)	45dB(A)	『埼玉県生活環境保全条例』より				居室（空調対象室）	NC-40（目標値・カセット型及び露出機器は除く）			室 名	NC値	室 名	NC値	空調（冷暖房）対象室	40			その他	設定なし												
	屋外（境界線にて）	午前8時～午後7時まで	午前6時から午前8時まで	午後10時から																																								
			午後7時から午後10時まで	翌日の午前6時まで																																								
	第2種区域（都市計画区域外）	55dB(A)	50dB(A)	45dB(A)																																								
	『埼玉県生活環境保全条例』より																																											
	居室（空調対象室）	NC-40（目標値・カセット型及び露出機器は除く）																																										
室 名	NC値	室 名	NC値																																									
空調（冷暖房）対象室	40																																											
その他	設定なし																																											
○溶接配管の溶接部非破壊検査																																												
●経年検査	竣工引渡後、半年・1年目及び2年目には、経年検査を発注者及び監理者、又はその代理人立会のもとに請負工事担当主任技術者が行う。 これに直接必要な経費は、すべて請負者の負担とする。 かしある場合は報告の上、直ちに補修改善を請負者の負担にて行う事。																																											
●工事報告	建築工事による。																																											
●負担金等	●給水引込負担金（ ・ 本工事 ・ 別途 ●不要） ○ガス引込負担金（ ・ 本工事 ・ 別途 ○不要） ○下水道等接続負担金（ ・ 本工事 ・ 別途 ○不要）																																											
●機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による。 立金い時に要する費用はすべて請負者によって負担する。																																											
●常備図書	施工前に下記の図書（最新版）を用意し、現場事務所に常備する。 ●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ●機械設備工事管理指針 ●工事写真の撮り方 ●機械設備工事施工チェックシート ●建築設備工事施工管理マニュアル ●関係法規集 ●その他係員の指示するもの																																											
●参考メーカー	当該設計図書にて参考とした主なメーカーは以下とする。 確認申請時の省エネ計算結果（図書）を確認し、メーカー及び仕様を決定すること。 <table><tr><th colspan="2">主な設計参考機器・器具メーカーリスト</th></tr><tr><th>機 留 名</th><th>メ ー カ ー 名</th></tr><tr><td>空冷HPパッケージエアコン</td><td>ダイキン・三菱電機・日立・東芝・パナソニック等</td></tr><tr><td>全熱交換器ユニット</td><td>ダイキン・三菱電機・パナソニック等</td></tr><tr><td>有圧箱・換気扇・天井扇</td><td>ダイキン・三菱電機・パナソニック等</td></tr><tr><td>消音BOX付シロッコファン</td><td>ダイキン・三菱電機・パナソニック等</td></tr><tr><td>1級遠達シロッコファン</td><td>テラル・荏原製作所・ミツヤ送風機等</td></tr><tr><td>衛生陶器</td><td>TOTO・LIXIL等</td></tr><tr><td>電気温水器</td><td>TOTO・LIXIL・日本イトミック・細山熱器等</td></tr><tr><td>受水槽</td><td>NYK等</td></tr><tr><td>合併浄化槽</td><td>ライズ等</td></tr><tr><td>土壌脱臭装置</td><td>ライズ等</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	主な設計参考機器・器具メーカーリスト		機 留 名	メ ー カ ー 名	空冷HPパッケージエアコン	ダイキン・三菱電機・日立・東芝・パナソニック等	全熱交換器ユニット	ダイキン・三菱電機・パナソニック等	有圧箱・換気扇・天井扇	ダイキン・三菱電機・パナソニック等	消音BOX付シロッコファン	ダイキン・三菱電機・パナソニック等	1級遠達シロッコファン	テラル・荏原製作所・ミツヤ送風機等	衛生陶器	TOTO・LIXIL等	電気温水器	TOTO・LIXIL・日本イトミック・細山熱器等	受水槽	NYK等	合併浄化槽	ライズ等	土壌脱臭装置	ライズ等																			
主な設計参考機器・器具メーカーリスト																																												
機 留 名	メ ー カ ー 名																																											
空冷HPパッケージエアコン	ダイキン・三菱電機・日立・東芝・パナソニック等																																											
全熱交換器ユニット	ダイキン・三菱電機・パナソニック等																																											
有圧箱・換気扇・天井扇	ダイキン・三菱電機・パナソニック等																																											
消音BOX付シロッコファン	ダイキン・三菱電機・パナソニック等																																											
1級遠達シロッコファン	テラル・荏原製作所・ミツヤ送風機等																																											
衛生陶器	TOTO・LIXIL等																																											
電気温水器	TOTO・LIXIL・日本イトミック・細山熱器等																																											
受水槽	NYK等																																											
合併浄化槽	ライズ等																																											
土壌脱臭装置	ライズ等																																											
●その他	●設計図面及び特記仕様書に記載なきもの（契約前の質疑にもなかったもの）で、常識的に当然必要と思われるものは発注者及び監理者の指示により、請負者の負担で施工するものとする。 ●給水引込管・排水取付管・ガス引込管の既設撤去及び新設に伴う既設錆撤去・復旧は本工事とする。 ●インバーター機器には、高調波対策を施す事。（検討による除外は可能） ●屋内外で見え掛かりとなる機器・器具類は指定色仕上とする。 ●メンテナンスを考慮し、必要箇所に立馬等を本工事に設置すること。 ●屋外及び多湿箇所に設置する架台類、取り付け金物、アンカーボルト、組立ボルトナットはステンレス製とする。 ●パッキン類及び保温材にアスベスト含有のものは使用しない。 ●屋上等の点検通路にあたる配管ダクト、ケーブルラックの上には、ステンレス製又は溶融亜鉛めっきドブ付けの踏板を設置し、通行上支障のないようにする事。 ●本図書に、質疑（諸記、食い違い等を含む）がある場合、質疑応答時に指摘のないものは、発注者及び監理者の指示に従う。																																											
●空気調和設備	●係員事務所には、係員用の夏・冬作業服、ヘルメット、安全靴、安全帯、ノート、パソコン、デジタルカメラ、文房具類一式を常備する。 ●見え掛かりとなる設備機器・器具は意匠性から、必ず意匠監理担当者に確認を行い、必要に応じて、サンプルを準備する事。 ●別途工事を含めた施工図を作成し、承諾を得る事。 ●機器及び配管・ダクト等の支持用下地は全て本工事とする。 ○駆体スリーブ施工仕様は協議により公共建築仕様からの変更可とする。 ○機器仕様については、標準仕様書からメーカー標準仕様への変更は可とする。 ●屋外設置機器は指定色仕上とし、必ず意匠監理担当者に確認を行うこと。																																											

●設計温湿度	●設計温湿度	屋外温湿度 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="8">外 気</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏期</td><td>37.1℃</td><td>47.1%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬期</td><td>0.5℃</td><td>49.4%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td></td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table> 屋内温湿度（目標値） <table><tr><th rowspan="2">系統名</th><th colspan="2">夏期</th><th colspan="2">冬期</th></tr><tr><th>乾球温度 [℃DB]</th><th>相対湿度 [%RH]</th><th>乾球温度 [℃DB]</th><th>相対湿度 [%RH]</th></tr><tr><td>冷暖房対象室</td><td>26</td><td></td><td>22</td><td></td></tr><tr><td>冷暖房非対象室</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※湿度条件は機器容量選定用とし、湿度の制御は行わない。		外 気								温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期	37.1℃	47.1%	℃	%	℃	%	℃	%	冬期	0.5℃	49.4%	℃	%	℃	%	℃	%		℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	系統名	夏期		冬期		乾球温度 [℃DB]	相対湿度 [%RH]	乾球温度 [℃DB]	相対湿度 [%RH]	冷暖房対象室	26		22		冷暖房非対象室																							
		外 気																																																																																		
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																											
	夏期	37.1℃	47.1%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																											
	冬期	0.5℃	49.4%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																											
		℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																											
	系統名	夏期		冬期																																																																																
		乾球温度 [℃DB]	相対湿度 [%RH]	乾球温度 [℃DB]	相対湿度 [%RH]																																																																															
	冷暖房対象室	26		22																																																																																
	冷暖房非対象室																																																																																			
○鋼板製煙道	(1) 鋼板厚（ ○ 3.2mm ○ 4.5mm） (2) ばい煙濃度計 ○ 設ける ○ 設けない (3) ばいじん量測定口 ○ 設ける（測定口は80φ以上とする） ○ 設けない																																																																																			
●ダクト	低圧ダクト（・アングル工法●コーナーボルト工法（共振もしくはスライド））とする。 1. 500mmを超えるダクトは、アングル工法ダクトとする。 ダクト材料は下記によるものとする。 ● 亜鉛鋼板ダクト（一般ダクト） ○ ステンレス製ダクト（屋外ダクト・浴場排気ダクト・厨房系排気ダクト） ○ グラスウールダクト（適用範囲は図示による） ○ 樹脂コーティングダクト（適用範囲は図示による） ○ 亜毛鋼板ダクト ● 亜鉛鋼板スパイラルダクト ● 消音フレキダクト ※制気口への接続は消音フレキダクト（1m以上）を使用する。 長方形ダクトの縦横出しは、原則として4以下とする。 防火区画を貫通するダクトの隙間処理は、（ ・ 防火 ● ロック-A ）とする。 防火区画を貫通するダクトの保温はロックウール保温材とする。 防火区画の貫通は不燃材料の認定品とし、空調の場合は保温材付きのものとする。 図示した位置の他、以下とする。 ● 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ● 外気取入れダクト ● 空調機出口チャンバーの分岐ダクト																																																																																			
●チャンバー	(1) 内張りを施すチャンバーの表示寸法は外形寸法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りをしたチャンパーには、点検口を設ける。大きさは図示による。 (3) 外壁ガラリに取付けるチャンパー及びホッパーは、雨水が滞留しないように施工する																																																																																			
●制御盤及び操作盤	機器の制御盤及び操作盤は標準仕様書第2編1. 2. 2を適用する。																																																																																			
●ダンパー	(1) 防塵ダンパー 復帰方式（ ○ 遠隔 ○ ） 定格入力はDC24V、0. 7A以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式（ ○ 遠隔 ○ ）																																																																																			
●配管材料	(1) 冷温水管 ○ 配管用炭素鋼管（白） ○ (2) 温水管 ○ 配管用炭素鋼管（白） ○ 配管用炭素鋼管（黒） ○ 圧力配管用炭素鋼管（黒）（Sch40） ○ ステンレス鋼管（SUS304）（JIS G 3448） (3) 冷却水管 ○ 配管用炭素鋼管（白） ○ (4) 油管 ○ 配管用炭素鋼管（黒） ○ (5) 膨張管、空気抜き管、ドレン管及び膨張タンクより温水機等への配管は下記とする。 土中埋設部 ○ ビニル管（VP） ○ 配管用炭素鋼管（白） (6) 冷媒管 ○ 断熱材被覆銅管（製造者標準） ○ 銅管 (7) 蒸気給気管 ○ 配管用炭素鋼管（黒） ○圧力鋼管用炭素鋼管（黒） 還 管 ○ 圧力配管用炭素鋼管（黒）（Sch40） ○ ステンレス鋼管（SUS304）（JIS G 3448） (8) ボイラの補給水管・ブロー管 ○ 圧力配管用炭素鋼管（黒）（Sch40） ○ ○ ステンレス鋼管（SUS304）（JIS G 3448） (9) その他ドレンの立管最末端には防臭、防虫対策として、エアークットバルブを設置する。																																																																																			
○弁・継手類	(1) 弁類の耐圧（ ○ 5K ○ 10K（図示部分）） (2) 鋼管用伸縮管継手は、（ ○ ペローズ形 ○ スリーブ形）とする。 (3) 蒸気給気管の弁は玉形弁とし、耐圧は図示による。 (4) 蒸気トラップ装置類は図示による。 (5) 蒸気管の可とう継手 往管 ○ボールジョイント ○フレキシブルジョイント 還管 ○ボールジョイント ○フレキシブルジョイント (6) 蒸気管の鋼管用伸縮管継手は、ペローズ形とする。																																																																																			
○温度計	取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ○ 空冷チラーの冷温水管（出入口） ○ 空気調和機の冷温水管（出入口） ○ 直置き吸収冷水機の冷温水管（出入口）及び冷却水管（出入口） ○ 空気調和機の冷温水管（出入口） ○ 空気調和機（パッケージは除く）のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入れダクト及びミキシングチャンパー ○ 冷温水ヘッダー（往）及び各選り管（※床放射空調系統） ○ 熱交換器の温水管（出入口）（※床放射空調系統）																																																																																			
○圧力計	取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ○ 空冷チラーの冷温水管（出入口） ○ 空気調和機の冷温水管（出入口） ○ 熱交換器の温水管（出入口）																																																																																			
○瞬間流量計	コック付とし、取付部は下記による。 ○ 温水発生機の温水管（入口） ○ 空気調和機の冷水、温水、冷温水管の入口に脱着形流量計を設置する。 ○ 直置き吸収冷水機の冷温水管（出口）及び冷却水管（出口） ○ 冷温水ヘッダーの各送り管又は各選り管 ○ 熱交換器の温水管（入口又は出口）																																																																																			

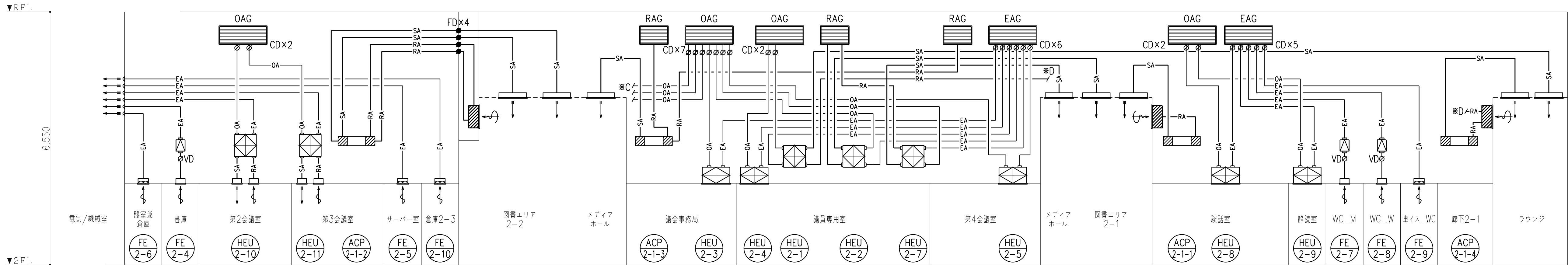
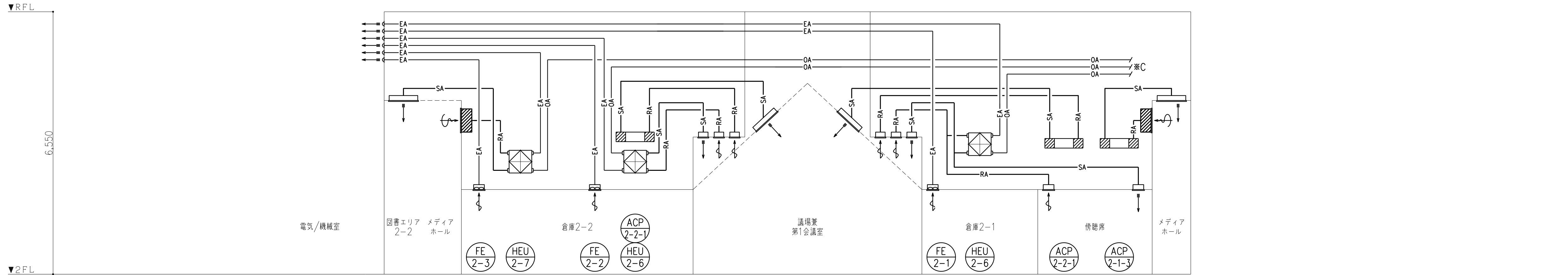
		特記	工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
			図面名称 特記仕様書(2)				
						機械設備	M-002

●空気調和設備	○地下オイルタンク	(1)据付け方法 (2)タンクの保護材 (3)コンクリート躯体 (4)乾燥砂	○タンク室を設ける ○エポキシ樹脂被覆 ○別途工事	○タンク室を設けない ○錆止め塗装 ○本工事	○電気計装工事の配線	図示による。 (1)使用する電線類規格は標準仕様書第4編表4、2、12を使用する電線管の規格による。(機器、酸類は除く) (2)屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 (3)天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	●排水設備	●配管材料 ※凡例による	(1)屋内汚水管(汚水管及び汚水管に接続される雑排水管に適用する。) 排水用タールエポキシ塗装調管 鉛管(衛生陶器接続部) 床上排水の洋風便器の接続部は、VPとする。 雑排水管(汚水管に接続しない雑排水管に適用する。) 配管用炭素調管(白) 鉛管(衛生陶器接続部) 通気管 配管用炭素調管(白) ビルン管(VP)(土中埋設部) ポンプアップ管 配管用炭素調管(白) (2)屋外 第一階まで ビルン管(VP) 囲 125A以下 150A以上 遠心力鉄筋コンクリート管 ポンプアップ管 配管用炭素調管(白)	(1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 (2)流し等の床上露出部分の配管は、ビルン管(VP)でもよい。 (3)流し等で高温排水となる箇所は、ビルン管(HTVP)とする。	●配管材料 ※凡例による	○屋内消火栓、屋外消火栓、連結取水用 (1)一般配管 (2)地中埋設配管 配管用炭素調管(白) 消火用ポリエチレン外面被覆調管(SGP-VS) ○連結送水管(低層) (1)屋内一般配管 (2)地中埋設配管 配管用炭素調管(白) 消火用ポリエチレン外面被覆調管(SGP-PS) ○連結送水管(高層) (1)屋内一般配管 (2)地中埋設配管 ○圧力配管用炭素調管(白)(Sch40) ○消火用ポリエチレン外面被覆調管(STPG370PS白管Sch40) ○消防用水の採水用吸込管 (1)一般配管 (2)地中埋設配管 配管用炭素調管(白) 消火用ポリエチレン外面被覆調管(SGP-PS)	○保温 ○建物導入部配管	●消火器 ●消火器埋込BOX	○不活性ガス消火設備	○方式及び仕様は当該設備図面参照の事。 ○当該工事に関係する本工事(配管等の付帯工事)仕様は本特記仕様に準ずる事とする。 ○試運転調整は本工事施工者及びメーカー担当者が行う事。 ○他工事(建築・電気等)と十分協議を行う事。	●その他	○特記なき限り、放水口・消火栓等のBOXは指定色焼付塗装仕上げとし、補助放水栓箱は火災報知器併設型とする。 ○機械式駐車装置(10台以上収容の場合)に、移動式消火器(屋外設置はSUS製BOX、指定色焼付仕上げ)を設置する。 ●所轄消防署の仕様に準拠する事。		
	○鋼板製煙道	(1)ばい煙濃度計 (2)ばいじん量測定口	○設ける ○設けない	○設けない		●衛生器具付属水栓 ○和風大便器耐火カバー ●洗面器などの排水管 ●小便器自動洗浄装置 ●衛生器具ユニット ●洗面器などの排水管 ●その他		水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 ○設ける(ピット内は除く) ○設けない 単独室内手洗器の器具トラップ口径は32Aとする。 小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。 ユニットの配管材料は、採用メーカー仕様による。 各衛生器具水量(節水対策)については、衛生器具リスト同等とする事。 ●採用器具の決定の際は、衛生器具プレゼンテーションシートを作成し、監理者に提出・承認を経て施工をすること。	●排水機ふた	○絶縁継手 ○放流納付金等	●保温 ●その他	●格子蓋には落葉キャッチャーを付属する。 ●流し排水はLトラップ(CO取付)を使用し、流しの裏板内へ排水すること。 ●防水バンの排水接続は、直管接続とすること。但し、ゴム製ジョイントは使用可。 ●洗面所(トイレ)周りの躯体が下がっている範囲を貫通する配管周りはコーキングを行い、漏水時下階への広がりを防ぐ。 ○排水室管の脚部継手後1.5M以上横配管し、メイン横排水管に接続の事。 ○脚部継手は構造体から単独に支持を取る事。 ●釜場の排水ポンプのストレーナーは底から50mm以内とする ○ピット内排水横主管の伸縮継手は15m程度を目安に設置する。 ●掃除口は横主管10mに箇所あたり設置する。 ○居室を通過する天井内配管・PS内排水管はガラスウール32K(25mm厚)遮音シート二重巻きとする。 ○最下層単独配管には必要に応じて回路通気管を設ける。 ●所轄下水道事業者等の仕様に準拠する事。 ○各排水に即した阻集器を設置する事。(グリーストラップ・プラスタートラップ) ○建物周囲1mの範囲の埋設配管は建物躯体から直接支持をとり、自沈防止を図る事。	●配管材料 ※凡例による	(1)都市ガス (2)液化石油ガス 1)一般配管 2)地中埋設配管 配管用炭素調管(白) ポリエチレン被覆調管(黒)	●充てん容器	●別途(ガス供給業者より貨与) ○本工事(●50kg ○kg)×2本 ※事業者と協議し、ガス供給業者について確認を行う事。	●ガスメーター ●ガス置換え報器 ●転倒防止等	●親メーター(●貨与品(ガス供給業者より) ○買い取り) ○子メーター(○買い取り ○貨与品)	●本工事(図示による) ●別途工事	●要(2本立て以上) ○不要 ※液化石油ガス容器廻りは標準図に準拠する事。
●換気設備	●ダクト	低圧ダクト(・アングル工法●コーナーボルト工法(共振もしくはスライド))とする。 1、500mmを超えるダクトは、アングル工法ダクトとする。 ダクト材料は下記によるものとする。 ●垂鉛鋼板ダクト(一般ダクト) ●ステンレス製ダクト(屋外ダクト・浴場排気ダクト・厨房系排気ダクト) ○グラスウールダクト(適用範囲は図示による) ○樹脂コーティングダクト(適用範囲は図示による) ○植毛鋼板ダクト ●スパイラルダクト ●厨房排気系統の長方形ダクトはアングルフランジ工法とし、板厚は標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 ●制気口への接続は消音フレキダクト(1m以上)を使用する。 長方形ダクトの縦横比は、原則として4以下とする。 防火区画を貫通するダクトの隙間穴埋めは、(●セパ・ロック)とする。 防火区画を貫通するダクトの保温はロックウール保温材とする。 ルツワ材は不燃材料の認定品とし、空調の場合は保温材付きのものとする。	●水栓 ●水栓柱 ●水量水器 ●弁類 ●水量水器 ●管の埋設深さ ●保温 ●建物導入部配管 ●引込納付金等 ●その他 ●管の接合	●水栓柱 ●一般水栓柱(○合成樹脂製 ○人研製 ●SUS製) ○不凍水栓柱 ○凍結防止カバーを取付ける。 ●親メーター用 ●水道事業者指定品 ○標準図MC形 ○子メーター用 ○水道事業者指定品 ○標準図MC形 (1)弁類の耐圧 ●水道直結部分(●10K ○) ●その他の部分(●5K ○) (2)50A以下の弁類 ○ステンレス鋼弁 ●青銅弁(管端コア・鉛レス) (3)65A以上の弁類 ○ステンレス鋼弁 ●ライニング弁 (4)逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ●親メーター(●貨与品 ○買取) ○子メーター(○貨与品 ○買取)	●給湯設備	●配管材料 ※凡例による	(1)一般配管(脚張管共) ○ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448又はJWWA G 115) ○鋼管(鋼及び鋼合金継目無管)硬質(M) ○保温付被覆鋼管(範囲は図示する。)	●弁類	(1)弁類の耐圧(●5K ○10K) (2)50A以下の弁類 ○ステンレス鋼弁 ●青銅弁(管端コア・鉛レス) (3)65A以上の弁類はステンレス鋼弁とする。	必要に応じて取付ける。 湯沸器用排気筒の保温範囲は図示による。 (1)材質:SUS304製 厚さ0.6~0.8mm 構造:溶接管差込形(丸形直管、エルボ、チーズ、煙突トップ)	(1)据付け方法 (2)タンクの保護材 (3)コンクリート躯体 (4)乾燥砂	○タンク室を設ける ○エポキシ樹脂被覆 ○錆止め塗装 ○別途工事 ○本工事	●貯湯式湯沸器のオーバーフローは最寄りの流しに間接排水する。 (間接排水口は機器付属品としてもよい。)	●屋外露出配管は、SUSラッキングとする。 ○防凍保温及び凍結防止ヒーター巻きを行う。(屋外露出箇所) ○温水ヒータは大気汚染防止法、消防法に準ずること。						
	○排煙設備	○天井取付(○スリット形○スイング形) ○壁取付(スリット形○) ○天井式チャンバー方式 ○当該図面参照のこと	○ワイヤー式 ○電気式 ○当該図面参照のこと	○有(○遠隔操作 ○手動操作) ○無	●管の埋設深さ ●保温 ●建物導入部配管 ●引込納付金等 ●その他 ●管の接合	●給湯設備	●配管材料 ※凡例による	(1)一般配管(脚張管共) ○ステンレス鋼管(SUS304)(JIS G 3448又はJWWA G 115) ○鋼管(鋼及び鋼合金継目無管)硬質(M) ○保温付被覆鋼管(範囲は図示する。)	●弁類	(1)弁類の耐圧(●5K ○10K) (2)50A以下の弁類 ○ステンレス鋼弁 ●青銅弁(管端コア・鉛レス) (3)65A以上の弁類はステンレス鋼弁とする。	必要に応じて取付ける。 湯沸器用排気筒の保温範囲は図示による。 (1)材質:SUS304製 厚さ0.6~0.8mm 構造:溶接管差込形(丸形直管、エルボ、チーズ、煙突トップ)	(1)据付け方法 (2)タンクの保護材 (3)コンクリート躯体 (4)乾燥砂	○タンク室を設ける ○エポキシ樹脂被覆 ○錆止め塗装 ○別途工事 ○本工事	●貯湯式湯沸器のオーバーフローは最寄りの流しに間接排水する。 (間接排水口は機器付属品としてもよい。)	●屋外露出配管は、SUSラッキングとする。 ○防凍保温及び凍結防止ヒーター巻きを行う。(屋外露出箇所) ○温水ヒータは大気汚染防止法、消防法に準ずること。					

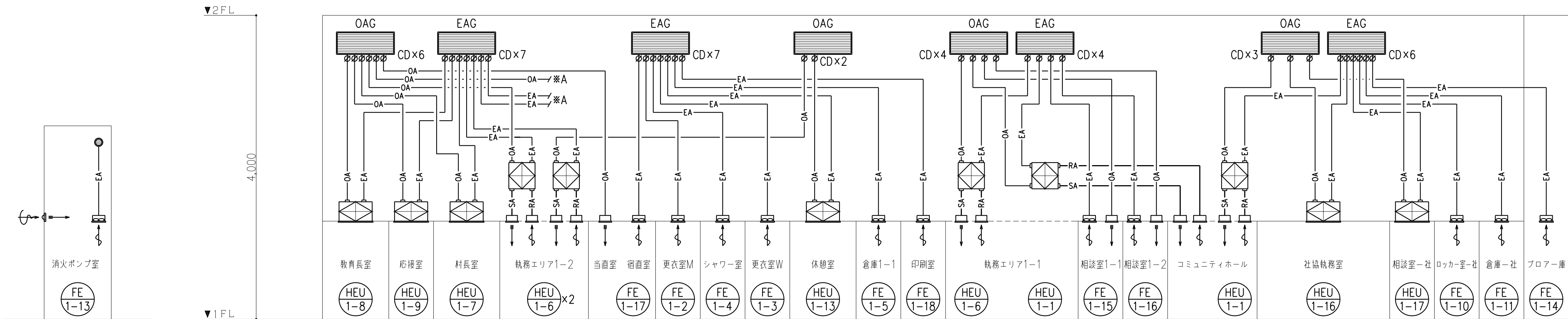
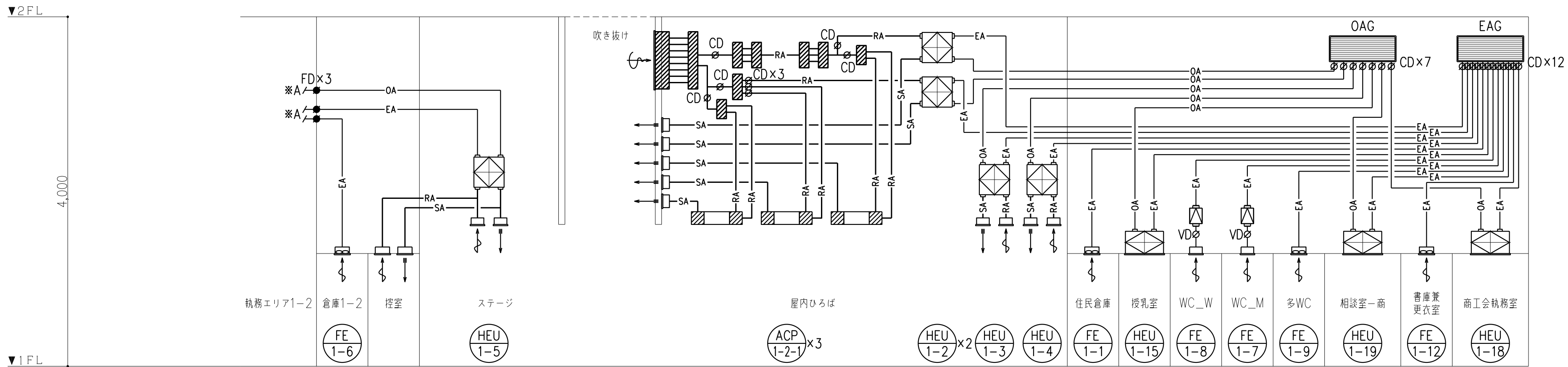
特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
	東秩父村新庁舎建設工事 図面名称 特記仕様書(3)			機械設備	M-003

仕 様 書（ 補 足 ）				Ⅱ 工 事 区 分 表																															
Ⅰ 工 事 範 囲																																			
○ 工事用地 工事用地は概要書による。その他の用地は工事区分図による。 工事用地の管理責任は工事請負契約締結日から引き渡しまで請負者によるものとする。																																			
○ 工事範囲（工事範囲は以下の表による。）																																			
項 目		含 む	別 途	備 考		項 目		建 築	電 気	機 械	（ ガ ス ） 含	昇 降 機	開 発	別 途	備 考																				
○ 建築	仮設	○				○ 昇降機	コンクリート躯体のビット類	○																											
	土工・地業	○					同上の通水管及び槽内通気管	○																											
	地盤改良	○	※発生する場合は含む				同上の槽外通気管			○																									
	躯体	○					同上のマンホール及び蓋	○																											
	外部仕上げ	○					同上の点検口及びタラップ	○																											
	内部仕上げ	○					同上の槽内防水及び清掃	○																											
	受付カウンター	○					同上の設備			○	○																								
	固定棚（一部可動有り）	○					同上の水中ポンプ引上用ガイドパイプ				○																								
	造作家具	○																																	
	造作St本棚		○	※仕様、配置、形状検討は含む																															
議場家具		○	※仕様、配置、形状検討は含む																																
傍聴家具		○	※仕様、配置、形状検討は含む																																
執務什器・家具・可動式パーテーション等		○	※仕様、配置、形状検討は含む																																
共用部什器		○	※仕様、配置、形状検討は含む																																
ロッカー		○	※仕様、配置、形状検討は含む																																
ハンドル式移動棚（集密書架）		○	※仕様、配置、形状検討は含む																																
消火器		○																																	
自動販売機・ウォーターサーバー		○																																	
冷蔵庫		○																																	
サイン		○																																	
舞台機構（屋内ひろば）		○	含む：下地、配管 / 別途：機器、配線																																
舞台音響／照明（屋内ひろば）		○	含む：下地、配管 / 別途：機器、配線																																
オムツ交換台・授乳ソファ		○																																	
エレベーター		○																																	
○ 電気設備	電力引込設備	○	含む：引込柱																																
	受変電設備	○																																	
	非常用発電機設備	○	含む：タンク貯蔵室																																
	幹線設備	○																																	
	動力設備	○																																	
	電灯・コンセント設備	○	○ 別途：ハーネス用OAタップ																																
	構内情報通信網設備	○	○ 含む：配管 / 別途：機器、配線																																
	電話配信設備	○	○ 含む：配管 / 別途：機器、配線																																
	テレビ共同受信設備	○	○ 含む：配管、配線 / 別途：機器																																
	インターホン・トイレ呼出設備	○																																	
拡声設備	○																																		
映像・音響設備	○	○ 含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																																	
監視カメラ設備	○	○ 含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																																	
防犯入退室管理設備	-	-																																	
防災無線用配管設備 Jアラート／県防災	○	○ 含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																																	
議場システム設備	○	○ 含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																																	
デジタルサイネージ設備（総合案内電子パネル含む）	○	○ 含む：専用コンセント																																	
自動火災報知設備	○																																		
避雷設備	○	○ ※建物高さが20mを超える場合は含む																																	
非常照明・誘導灯設備	○																																		
電気時計設備	○	○ 含む：議場のみ / 別途：その他すべて																																	
太陽光発電設備	-	-																																	
EV充電設備	○	○ 含む：配管、配線 / 別途：機器(下地含)																																	
○ 給排水衛生	衛生器具設備	○																																	
	給水設備	○																																	
	排水設備	○																																	
	給湯設備	○																																	
	消火設備	○																																	
	ガス設備	○																																	
○ 空気調和	浄化槽設備（屋外）	○																																	
	空気調和設備	○																																	
	空気調和ダクト設備	○																																	
	空気調和配管設備	○																																	
○ 屋外施設	換気設備	○																																	
	集中管理・自動制御設備	○																																	
	盛土・整地	○	※開発関係対象工事分を除く																																
	植樹・造園	○																																	
	舗装	○																																	
	雨水排水設備	○	○ 含む：仕上材選定、勾配レベル設定																																
	駐車場関連工事	○																																	
	階段・スロープ	○																																	
	倉庫・車庫	○																																	
	自転車止め	○																																	
○ 造成	キャノピー	○																																	
	外構用照明・コンセント	○																																	
	外構固定家具（ベンチ等）	○																																	
	手摺／柵／柵／バリアー等	○	※開発関係対象工事分を除く																																
	旗ポール	○																																	
	造成（擁壁・盛土・整地等）	○	※屋外施設工事分を除く																																
	申請関係	○	※対象敷地面積10,000㎡未満のため無し																																
	雨水排水設備	○																																	
	下記解体工事範囲以外の既存外構（舗装・花壇等含）	○																																	
	○ 解体	既存役場（周辺外構含）	○																																
既存倉庫・車庫（周辺外構含）		○																																	
既存工作物敷地内移設／改造		○																																	
既存樹木敷地内移設／保存		○																																	
○ その他	計測震度計移設	○																																	
	電柱移設／撤去	○																																	
				特記												工事名称 東秩父村新庁舎建設工事 図面名称 工事区分表												図面尺度		日付		区分 機械設備		図面番号 M-005	

空調設備機器表（空冷HPエアコン）																																		
記 号	名 称	型 式	台 数	設 置 場 所				冷房能力 kW	暖房能力 kW	送 風 機				圧 縮 機	電 気 容 量(50Hz)				ガ ス	運転音 (dB) (音圧)	非常電源	安全対策			付 属 品							備 考		
				階	系 統	場 所	室 内 機			室 外 機	室 外 機 出 力 kW	φ	V		kW		冷房消費 kW	冷房消費 kW				安全対策			パネル	ドレンアップメカ	加湿器 (kg/h)	フィルター			防 振 装 置			
							風 量 m3/h								機外静圧 Pa	出 力 kW						出 力 kW	出 力 kW	検知器				警報器	遮断弁	ロ			中	高
ACP-2-1	電気式HPビル用マルチエアコン（室外機）	冷暖切替タイプ	1	2	-	電気/機械室	73.0	82.5				1.32+0.61	13.7+8.47	3	200	21.7 23.0 0.224 0.215	-	67	-												スプリング防振	高調波対策機能、ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
ACP-2-1-1	（室内機）	天井埋込ダクト形	1	2	図書エリア2-1	談話室	11.2	12.5	1,920	170	0.35			1	200	0.285 0.188 0.176	-	43	-	○	○	○	-	○	-	○					スプリングハンガー			
ACP-2-1-2	（室内機）	天井埋込ダクト形	1	2	図書エリア2-2	第3会議室	14.0	16.0	2,340	180	0.35			1	200	0.285 0.188 0.176	-	44	-	○	○	○	-	○	-	○					スプリングハンガー			
ACP-2-1-3	（室内機）	天井埋込ダクト形	2	2	メディホール	傍聴席、議会事務局	9.0	10.0	1,740	130	0.35			1	200	0.188 0.176	-	43	-	○	○	○	-	○	-	○					スプリングハンガー			
ACP-2-1-4	（室内機）	天井埋込ダクト形	1	2	ラウンジ	廊下2-1	9.0	10.0	1,740	160	0.35			1	200	0.188 0.176	-	43	-	-	-	-	-	○	-	○					スプリングハンガー			
ACP-2-1-5	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	談話室	談話室	7.1	8.0	1,320	-	0.053			1	200	0.072 0.068	-	38	-	○	○	○	○	○	○	-	○			スプリングハンガー				
ACP-2-1-6	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	静読室	静読室	5.6	6.3	930	-	0.053			1	200	0.043 0.038	-	32	-	○	○	○	○	○	○	-	○			スプリングハンガー				
ACP-2-2	電気式HPビル用マルチエアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(サイドフロータイプ)	1	2	-	電気/機械室	25.0	28.0				0.26×2	6.61	3	200	7.67 7.18	-	62	-												スプリング防振	高調波対策機能、ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
ACP-2-2-1	（室内機）	天井埋込ダクト形	2	2	議場兼第1会議室	倉庫2-2、傍聴席	9.0	10.0	1,740	140	0.35			1	200	0.188 0.176	-	43	-	○	○	○	-	○	-	○					スプリングハンガー			
ACP-2-2-2	（室内機）	壁掛形	1	2	傍聴席	傍聴席	3.6	4.0	690	-	0.028			1	200	0.027 0.027	-	39	-	○	○	○	-	○	-	○					-			
ACP-2-3	電気式HP店舗用エアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(ペア)	1	2	-	屋外	4.5	5.0				0.09	0.92	3	200	1.19 1.13	-	47	-												ゴム防振	ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	議会事務局	議会事務局			960	-	0.053							32		-	-	-	○	○	-	○				スプリングハンガー				
ACP-2-4	電気式HP店舗用エアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(ペア)	1	2	-	屋外	5.6	6.3				0.05	1.18	3	200	1.44 1.45	-	47	-												ゴム防振	ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	議員専用室	議員専用室			1,110	-	0.053							34		-	-	-	○	○	-	○				スプリングハンガー				
ACP-2-5	電気式HP店舗用エアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(ペア)	1	2	-	屋外	7.1	8.0				0.09	1.70	3	200	2.10 2.05	-	51	-												ゴム防振	ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	第4会議室	第4会議室			1,230	-	0.053							36		-	-	-	○	○	-	○				スプリングハンガー				
ACP-2-6	電気式HP店舗用エアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(ペア)	1	2	-	電気/機械室	10.0	11.2				0.186	1.95	3	200	2.47 2.35	-	52	○												ゴム防振	ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	第2会議室	第2会議室			2,040	-	0.106							45		-	-	-	○	○	-	○				スプリングハンガー				
ACP-2-7	電気式HP店舗用エアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(ペア)	1	2	-	電気/機械室	10.0	11.2				0.186	1.95	3	200	2.47 2.35	-	52	-												ゴム防振	ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
	（室内機）	天井カセット形(4方向・センシング機能搭載)	1	2	第3会議室	第3会議室			2,040	-	0.106							45		-	-	-	○	○	-	○				スプリングハンガー				
ACP-2-8	電気式HP店舗用エアコン（室外機）	冷暖切替タイプ(ペア)	1	2	-	電気/機械室	7.1	8.0				0.09	1.70	3	200	2.49 2.49	-	51	○												ゴム防振	ドレンパン、コンクリート基礎（建築工事）		
	（室内機）	壁掛形	1	2	サーバー室	サーバー室			1,080	-	0.048							44		-	-	-	-	○	-	○				-				
RC	手元リモコン(ビルマル)	個別リモコン(機器付属品)	24	各室																														
RC	手元リモコン(店舗用)	個別リモコン(機器付属品)	12	各室																														
集中RC	集中リモコン	カラー液晶タッチパネル	1	1		当直室								1	100	0.1																		
【管理項目】																																		
・ACP一括運転/停止操作																																		
・運転モード切替																																		
・室温設定																																		
・風速/風向設定																																		
・手元操作への禁止/許可																																		
・スケジュール設定																																		



2階ダクト系統図



1階ダクト系統図

凡例

※ ● は、FDを示す。

注記

※省略記号の※○(英字)は、以降同英字に続く。
※FD設置箇所は系統図の他、平面図による。
※各配管、ダクト共に1F屋内ひるば・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の循環天井(スリット天井)内の保温外装は天井内仕様とする。

特記

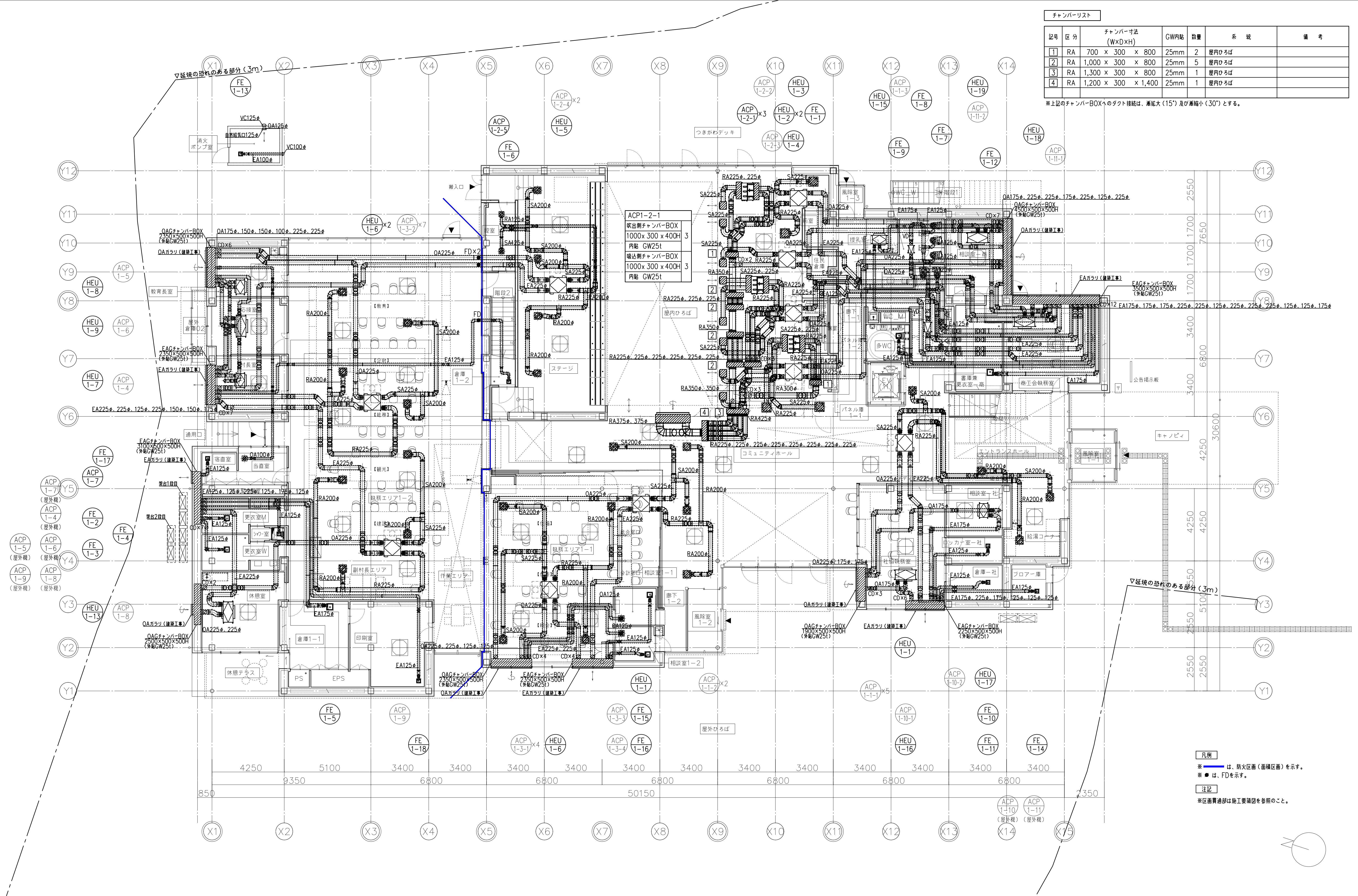
工事名称
東秩父村新庁舎建設工事
図面名称
空調換気設備 ダクト系統図

図面尺度

日付

区分
機械設備

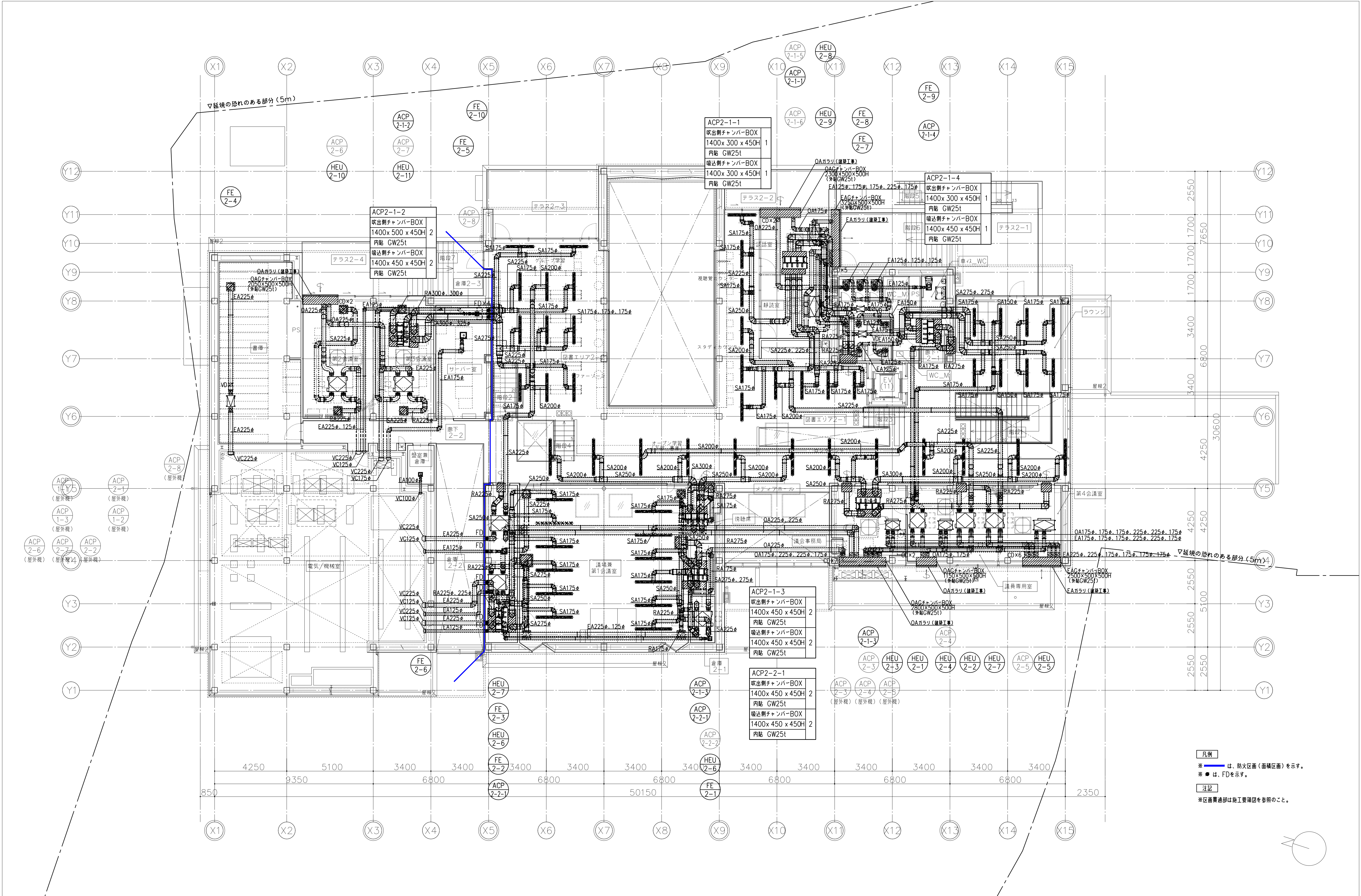
図面番号
M-106

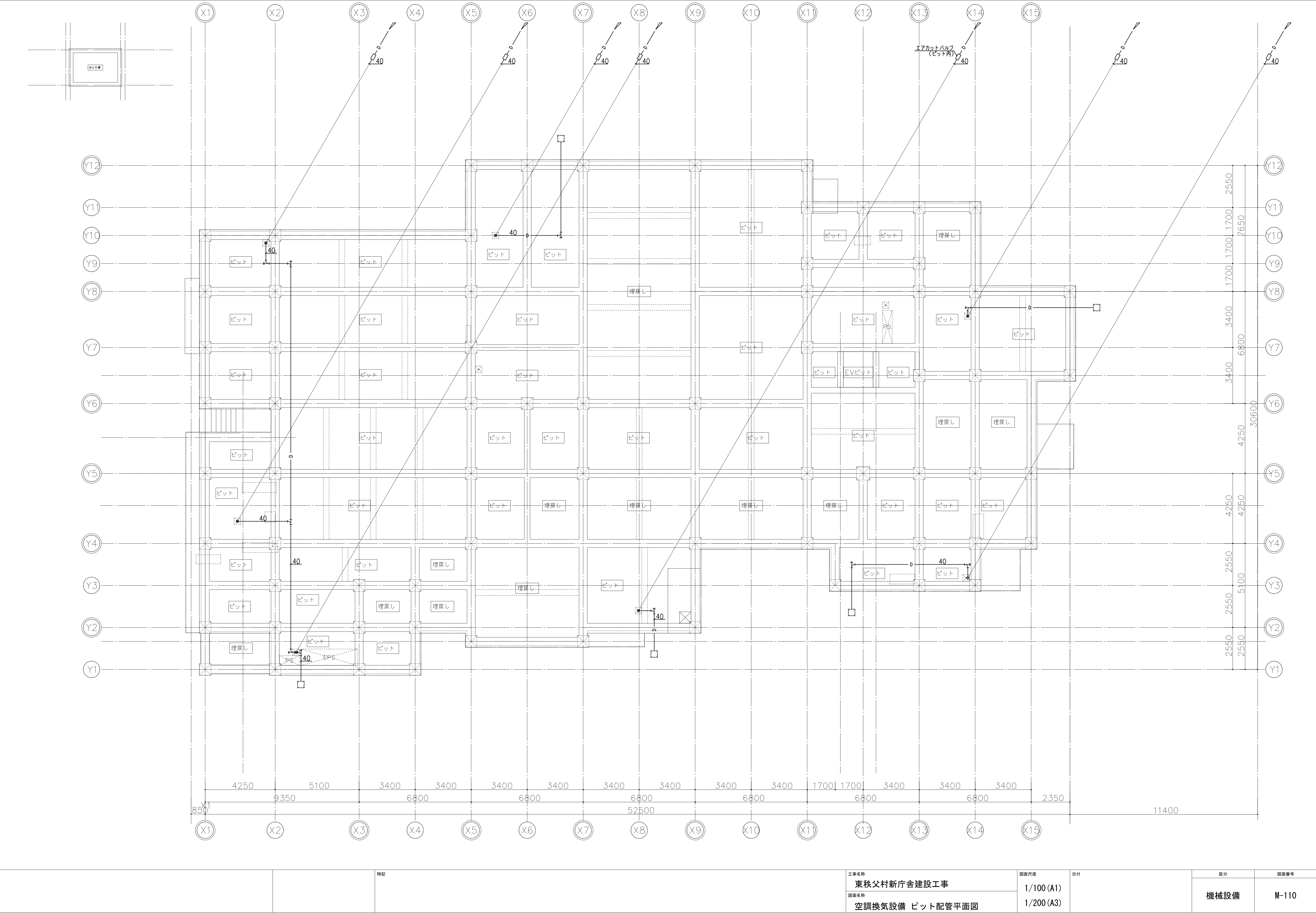


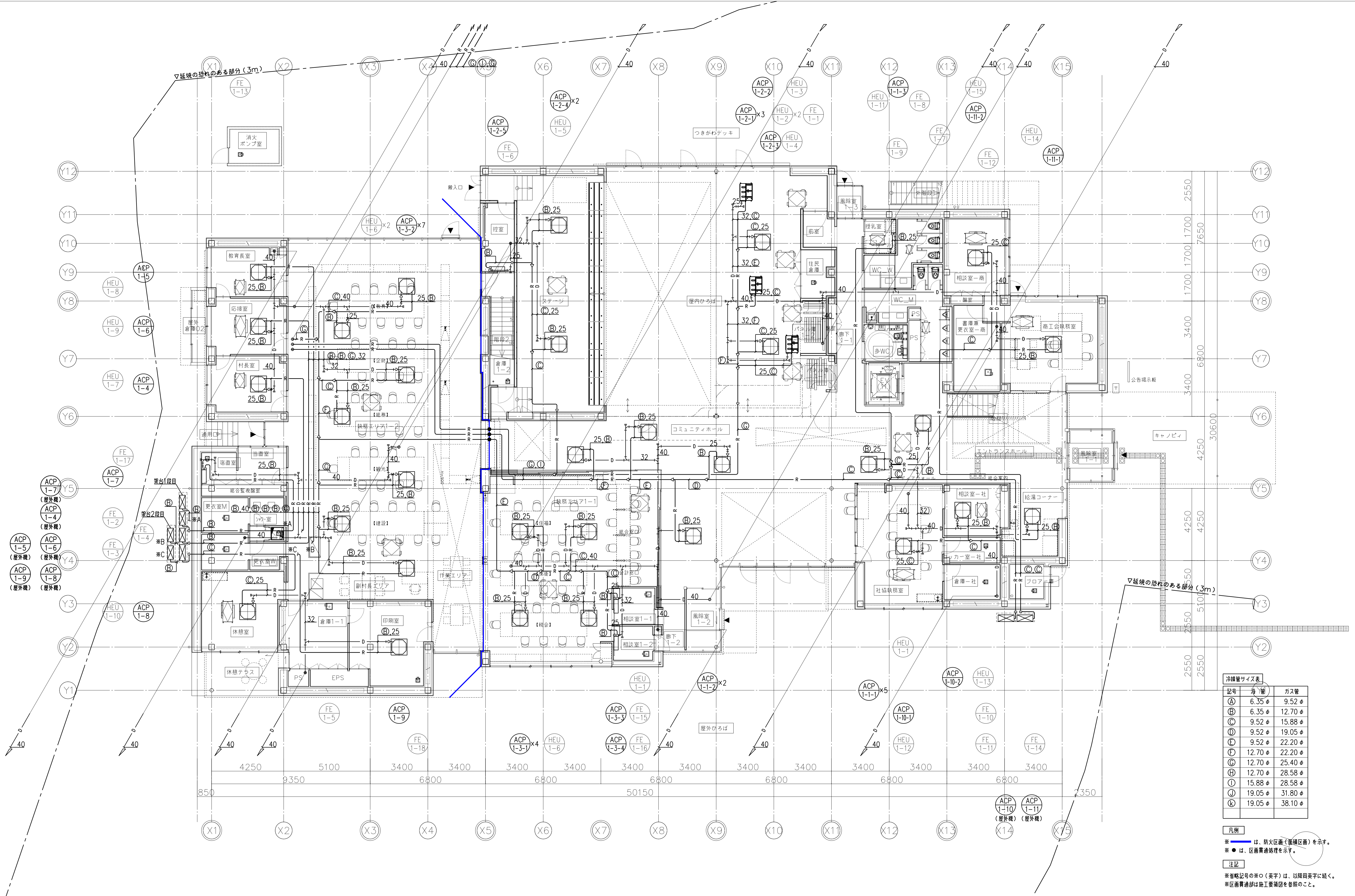
チャンパーリスト						
記号	区分	チャンパー寸法 (WxD×H)	GW内貼	数量	系 統	備 考
[1]	RA	700 × 300 × 800	25mm	2	屋内ひろば	
[2]	RA	1,000 × 300 × 800	25mm	5	屋内ひろば	
[3]	RA	1,300 × 300 × 800	25mm	1	屋内ひろば	
[4]	RA	1,200 × 300 × 1,400	25mm	1	屋内ひろば	

※上記のチャンパーBOXへのダクト接続は、漸拡大(15°)及び漸縮小(30°)とする。

凡例
※ 〓は、防火区画(面積区画)を示す。
※ ●は、FDを示す。
注記
※区画費通部は施工要領を参照のこと。



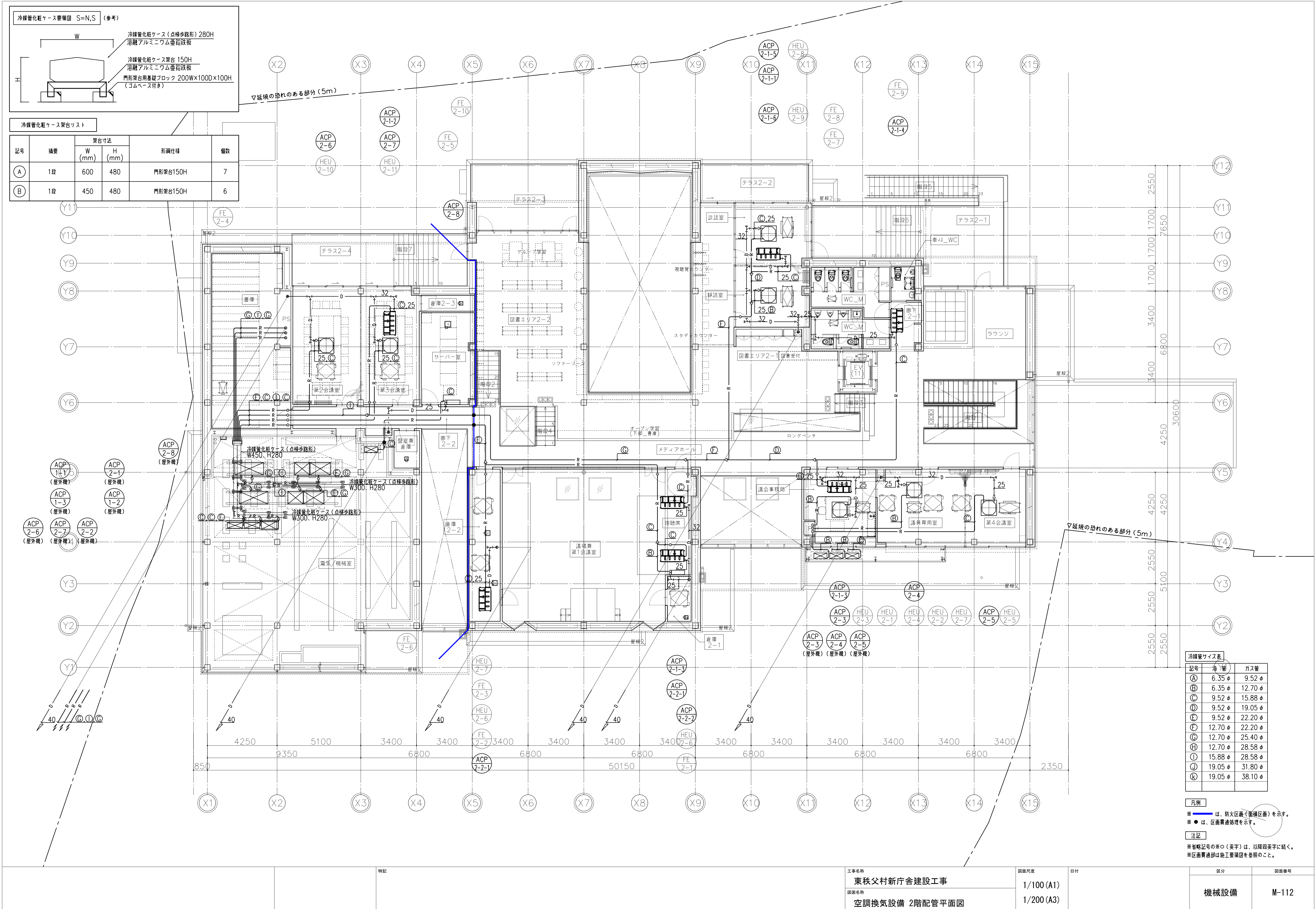




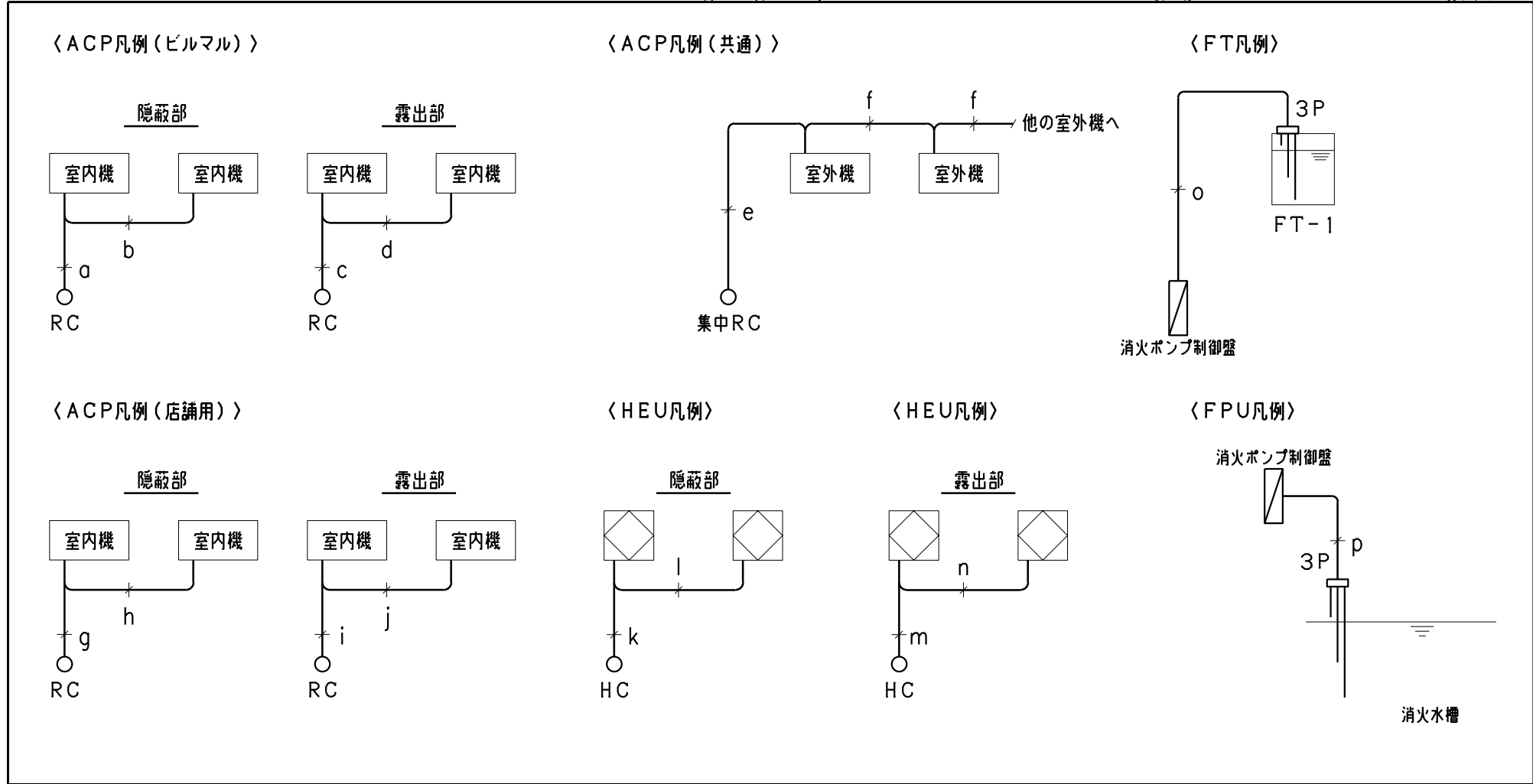
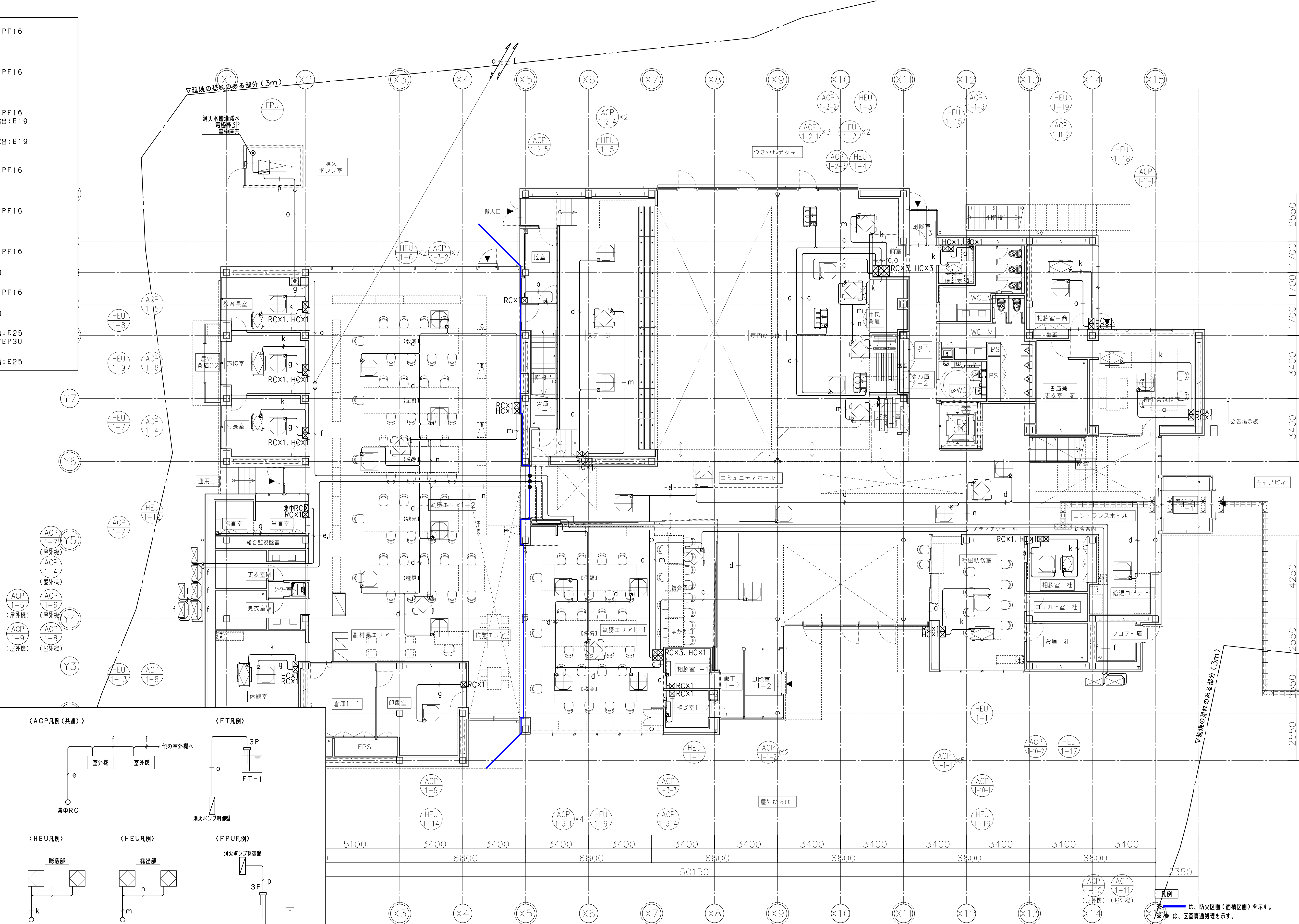
冷媒管サイズ表		
記号	冷 管	ガ ス 管
①	6.35 φ	9.52 φ
②	6.35 φ	12.70 φ
③	9.52 φ	15.88 φ
④	9.52 φ	19.05 φ
⑤	9.52 φ	22.20 φ
⑥	12.70 φ	22.20 φ
⑦	12.70 φ	25.40 φ
⑧	12.70 φ	28.58 φ
⑨	15.88 φ	28.58 φ
⑩	19.05 φ	31.80 φ
⑪	19.05 φ	38.10 φ

凡例
※ — は、防火区画（面積区画）を示す。
※ ● は、区画貫通処理を示す。

注記
※省略記号の※○（英字）は、以降同英字に続く。
※区画貫通部は施工要領図を参照のこと。



- a-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
- b-
EM-CEES1, 250-2C (冷媒管共巻) 連動
- c-
EM-CEES1, 250-2C 屋内露出: E19、壁内: PF16
- d-
EM-CEES1, 250-2C (冷媒管共巻) 連動
- e-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
屋外露出: G16、屋内露出: E19
- f-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、屋内露出: E19
室外機凝り: G16
- g-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
- h-
EM-EEF2, 00-3C (冷媒管共巻) 連動
- i-
EM-CEES1, 250-2C 屋内露出: E19、壁内: PF16
- j-
EM-EEF2, 00-3C (冷媒管共巻) 連動
- k-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
- l-
EM-CEES1, 250-2C (天井内: コロガシ) 連動
- m-
EM-CEES1, 250-2C 屋内露出: E19、壁内: PF16
- n-
EM-CEES1, 250-2C (屋内露出: E19) 連動
- o-
EM-CEES2, 00-3C 天井内: コロガシ、屋内露出: E25
屋外露出: G22、土中: FEP30
- p-
EM-CEES2, 00-3C 天井内: コロガシ、屋内露出: E25



凡例

●は、防火区分(面積区分)を示す。

※は、区画費通処理を示す。

注記

※区画費通部は施工要領を参照のこと。

特記

工事名称
東秩父村新庁舎建設工事

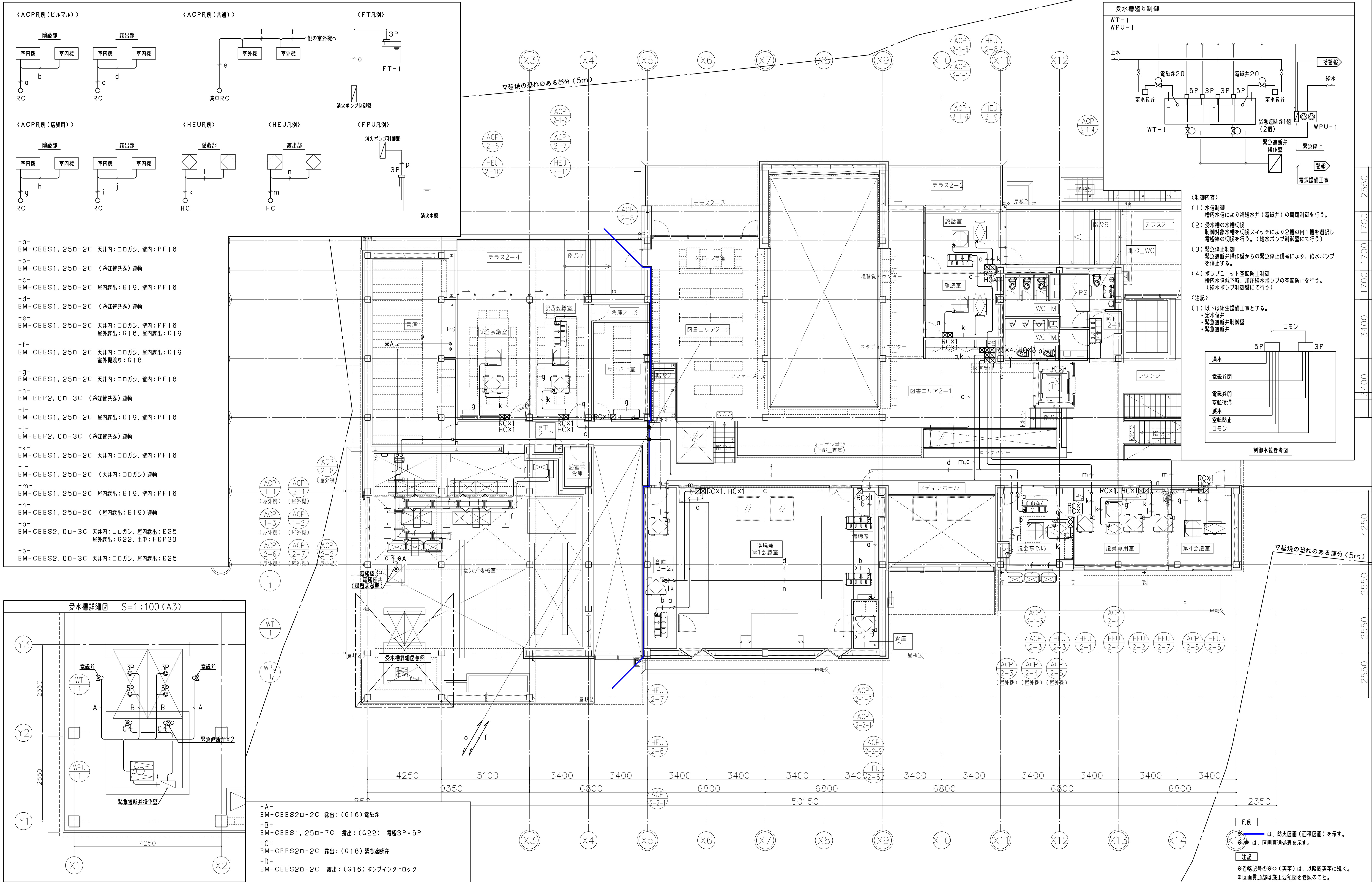
図面名称
計装設備 1階平面図

図面尺度
1/100 (A1)
1/200 (A3)

日付

区分
機械設備

図面番号
M-114



給排水衛生設備 機器表											
記 号	機 器 名	台数	機 器 仕 様	電 力 量 50Hz			起動	非常電源	設 置 場 所		備 考
				φ	V	kW			階	室 名	
WT-1	受水槽	1	型 式 :銅板製一体型 中仕切・ポンプ室付 容 量 :5.8m3 (有効) 寸 法 : (受水槽部分・複合板) 2.0(W) × 2.0(1.0 + 1.0)(D) × 2.0(H) : (ポンプ室部分・単板) 2.0(W) × 2.0(D) × 2.0(H) 耐 震 :2.0G 付 属 品 :平架台 (溶融亜鉛メッキ、100H)、内外梯子 (外はSUS製) × 2 電極座 × 2組 (電極棒5P × 2組 :電気設備工事) 防波筒 × 2、マンホール蓋 (鍵付／600φ) × 2、防虫網付通気口 × 2 ウェザーカバー (防虫網付)、SUS製組立ボルト、SUS製アンカーボルト キャパシタ内蔵型緊急遮断弁装置65A × 1組 (ポンプ室内自立形制御盤共) 取水口 × 2 (GV20・横水栓13A)、他標準付属品一式	-	-	-	-	○	2	屋上	コンクリート基礎 (建築工事)
WPU-1	加圧給水ポンプ	1組 (2台/組)	型 式 :推定末端圧力一定加圧ポンプユニット (インバーター方式) (流込仕様) 制 御 :推定末端圧一定制御 (インバータ)、自動交互並列運転 制 御 盤 :ELB × 2、外部警報端子、力率改善リアクトル、高調波フィルター付 能 力 :32φ × 50φ × 220 (110+110)L/min × 23m × 1組 (2台) 付 属 品 :制御盤 (外部警報端子付)、圧力タンク (呼称内容積10L) 防振架台、圧力計、他標準付属品一式						2	受水槽ポンプ室	コンクリート基礎 (建築工事) (参考型番) NX-50VFC322-0.75W-e 32BNBME0.75E KFE32P1.1
DP-1	欠番										
DP-2	排水ポンプ	1組 (2台/組)	型 式 :雑排水用水中ポンプ (樹脂製・ビルピット対応) 能 力 :50φ × 400 (200+200)L／min × 5m 制 御 : (常時)自動交互運転、 (非常時・満水時)並列運転・手動運転 (非自動式ポンプ+付属制御盤とする) 付 属 品 :動力制御盤 (屋外壁掛形)、水中ケーブル30m フロートスイッチ × 4 (停止・1台運転・2台運転・警報) 他標準付属品一式	1	100	0.4 × 2	L-S	○		屋外 A-2樹内	ため樹600口内へ設置
JU-1	合併処理浄化槽	1組	型 式 :嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式 能 力 :130人槽 (主フロア) 流 入 水 質 :BOD 200mg/L (副フロア) 放 流 水 質 :BOD 20mg/L (原水ポンプ) 耐 荷 重 :T-20 (放流ポンプ) 付 属 品 :浄化槽制御盤 (屋内壁掛形)、土壌脱臭装置 (ファン含)	3	200	0.75	L-S	○	屋外	来訪者用駐車場 フロア置場 フロア置場 原水ポンプ槽 放流ポンプ槽	詳細は合併浄化槽設備図参照 浄化槽法認定品

給排水衛生設備 器具表

器 具 名	主 要 付 属 品	参 考 品 番 (TOTO)	参 考 品 番 (LIXIL)	電 源 (100V)	非 常 電 源	階 室 名 合 計	1階										2階				屋外				備 考		
							WC M	WC W	WC 多	授乳室	給湯 コーナー	社協執務室	休憩室	更衣室 M	更衣室 W	シャワー室	消火ポンプ室	WC M	WC W	車イス WC	電気／機械室	議事事務局	屋外倉庫 O2	屋外			
床置大便器	掃除口付床置床排水大便器・フラッシュタンク式、温水洗浄便座(貯湯式・AC100V/311W)、擬音装置、 タッチスイッチ、棚付二連紙巻器付(SUS製)、他付属品一式	CFS498BYC + TCF5534AU + YH702	BC-P110SMA + DQ-PA150CH CW-PA21LQE-NE-R1 + CF-020-SET + CF-63HST	○	○	10	2	3									2	3									
コハバト多機能トイレハット	大便器：床置床排水大便器、ロータンク、温水洗浄便座(貯湯式・AC100V/409W)、背もたれ、手すり、ベビーチェア、 フィッティングボード付、洗面・手洗い：洗面器、手洗器、水栓、電気温水器1L(WHE-2付)(AC100V/505W) 汚物流し：壁掛壁排水汚物流し、ロータンク、電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W) その他：温風乾燥、棚付二連紙巻器(SUS製)、タッチスイッチ、洗浄レバー、他付属品一式	UADBZ61L1A1ASD1BA + TCF5554AUPR	PTWC-HC101L1A1ASWL + CW-PC12-CK-UR-TU AC-BK-F62 + AC-CB-14	○	○	1			1																		
幼児用補助便座		TC51	－	－	－	1				1																	
車イス対応便器	大便器：床置床排水大便器、フラッシュタンク式、温水洗浄便座(貯湯式・AC100V/409W)、擬音装置、手すり(L型・700×700) その他：温風乾燥、棚付二連紙巻器(SUS製)、タッチスイッチ、他付属品一式	CS498BC + TCF5554AUPR + T112CL10 YH702	BC-P110SM + DQ-PA150CH + CW-PC12QE-NECK KS-623 + CF-63HST + KF-920AE70D12J	○	○	1												1									
壁掛小便器	壁掛壁排水自動洗浄タイプ(自己発電タイプ)、低リフト型	UFS900WR	U-A51MP	○	○	7	4										3										
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、排水金具×2、他付属品一式	MC60C1500番#NNW1W + MFT3C1494D1NB12W YMK51K + TLE26SS1A + M356W	MB-501KD7WS(1500)/BW-01 + MTP1-K50C75(750)/W KF-D3611AS + AM-320CV1 + LF-105PAL-H + A-6223	○	○	2	1	1																			
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、排水金具×2、他付属品一式	MC60R1500番#NNW1W + MFT3Q1479D1NB12W YMK51K + TLE26SS1A + M356W	MB-501KD7WR(1500)/BW-01 + MTP1-K50C75(737)/W KF-D3611AS + AM-320CV1 + LF-105PAL-H + A-6223	○	○	1												1									
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、排水金具×2、他付属品一式	MC60C1575番#NNW1W + MFT3C1569D1NB12W YMK51K + TLE26SS1A + M356W	MB-501KD7WS(1575)/BW-01 + MTP1-K50C75(691)/W MTP1-K50C75(884)/W + KF-D3611AS + AM-320CV1 LF-105PAL-H + A-6223	○	○	1											1										
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、排水金具×2、止水栓×2、連結管×2 電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、膨張水処理ユニット×2、他付属品一式	MC60C1995番#NNW1W + MFT3C1989D1NB12W YMK51K + M356W + TL347CU RHE436-15 + REAH03B11RS26SK	MB-501KD7WS(1995)/BW-01 + MTP1-K50L75(247)/W MTP1-K50C75(750)/W + MTP1-K50R75(248)/W KF-D3611AS + LF-105PAL-H + EFH-6 + A-6223 LF-3VK + EHMN-CA3SC1-320C	○	－	1							1														
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、排水金具×2、止水栓×2、連結管×2 電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、膨張水処理ユニット×2、他付属品一式	MC60C1725番#NNW1W + MFT3C1719D1NB12W YMK51K + M356W + TL347CU RHE436-15 + REAH03B11RS26SK	MB-501KD7WS(1725)/BW-01 + MTP1-K50L75(198)/W TP1-K50L75(525)/W + MTP1-K50C75(1002)/W KF-D3611AS + LF-105PAL-H + EFH-6 + A-6223 LF-3VK + EHMN-CA3SC1-320C	○	－	1								1													
壁掛手洗器	壁掛手洗器、台付自動水栓(AC100V)、水石けん入れ、排水金具、止水栓、電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)、 他付属品一式	L30DM + TS126AR + REAH03B11RS26SK	L-15G + KF-24F + LF-3VK + LF-10PA + KF-30DN SF-5E + EFH-HM1-25 + EHMS-CA3SC1-320C	○	○	1												1									
手すり	大便器用(L型・700×700)、固定金具、他付属品一式	T112CL10	KF-920AE70D12J	－	－	4	1	1									1	1									
手すり	大便器用(はね上げ・700L)、固定金具、他付属品一式	T112HK7R	KF-471EH70JU	－	－	1													1								
手すり	小便器用、固定金具、他付属品一式	T112CU22	KF-701AEJ	－	－	2	1										1										
化粧鏡	600×900	YM6090A	KF-6090	－	－	2			1										1								
掃除用流し	単水栓、鎖付きゴム栓、リムカバー	SK22A + T23AEQ20C	S-202A + LF-7E-19-U	－	－	2	1										1										
ベビーチェア		YKA15S	AC-BK-F62	－	－	1													1								
ベビーシート		YKA25S	AC-OK-21F	－	－	1													1								
シャワーユニット(水栓共)	※配管接続及び水量調整等の試運転調整は本工事	(建築工事)	(建築工事)	－	－	(1)									(1)												
ミニキッチン用水栓	シングルレバー混合水栓(台付/分水口付)	TKS05309J	SF-HB420SYXB	－	－	5				1	1	1	1						1								
上記用ミニキッチン	※混合栓・配管接続及び水量調整等の試運転調整は本工事	(建築工事)	(建築工事)	－	－	(5)				(1)	(1)	(1)	(1)						(1)								
洗濯パン	640×640、排水トラップ	PWP640N2W + PJ2008NW	PF-6464AC/W + TP-52	－	－	1																					
上記用洗濯用水栓	緊急時止水機能付き	TW11R	LF-WJ50KQA	－	－	1																1					
横水栓	キー式カップリング付(逆止弁付)	T28AKUH13	LF-35G-13-CV	－	－	2														1		1					
屋外散水栓	カップリング付(逆止弁付)、SUS製立型散水栓BOX(キー付)、散水栓用バキュームブレーカー、他付属品一式	T28UNH13	LF-33-13-CV	－	－	7																7					

特記事項

1. 器具は全てセット品とし、標準付属品を全て含むものとする。(色については現場にて指示のこと)

2. 水栓には止水栓を設ける。

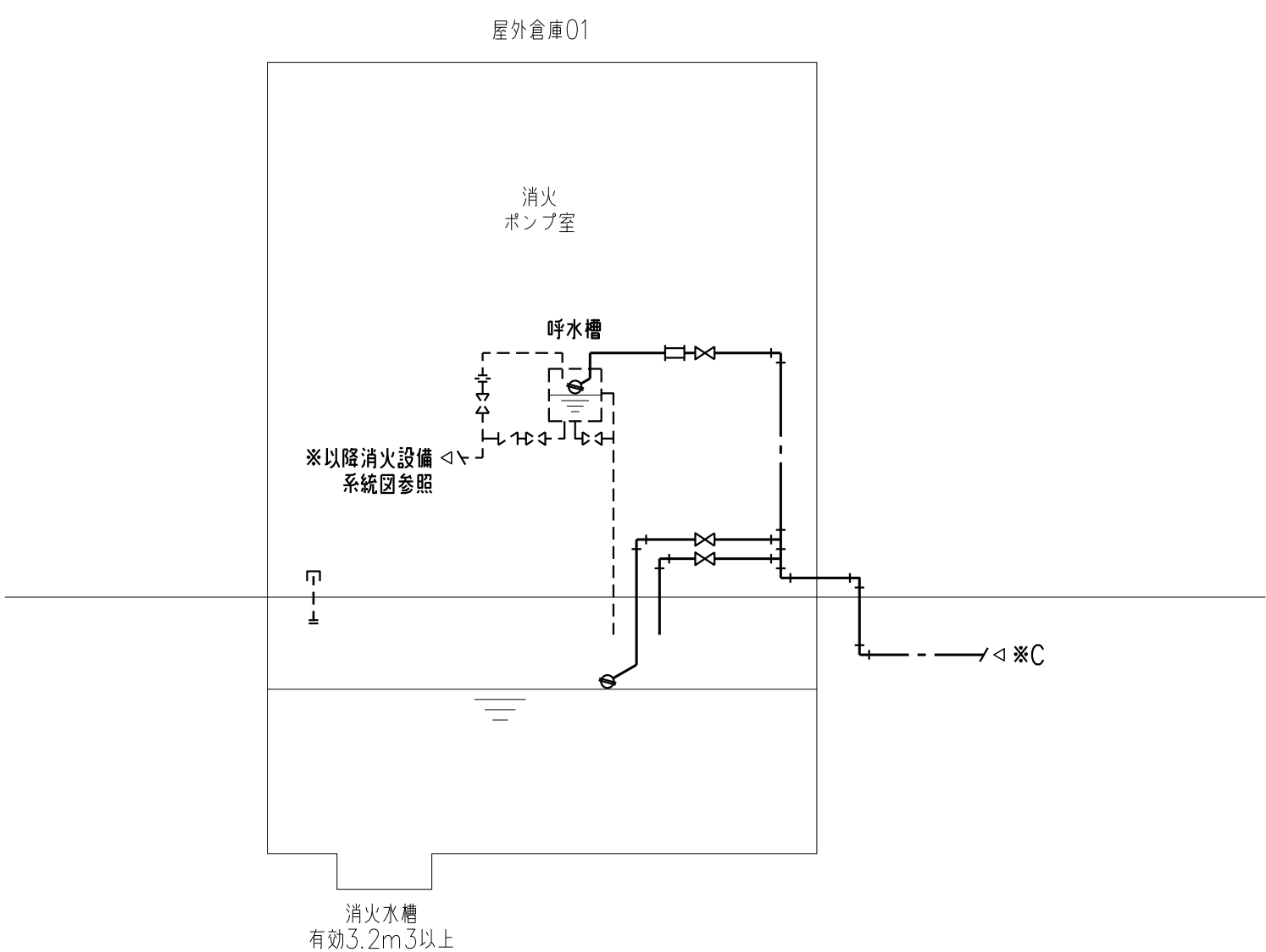
3. JIS抗菌規格適合品とする。

4. 品番は参考とし、同等品以上とする。

5. 特記無き器具据付下地は建築工事とする。

6. プレゼンテーションシートを作成し、監督員の承諾を得る事。(色含む)

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-202
			図面名称				
			給排水衛生設備 器具表				



注記1

※1は、以降排水樹へ接続を示す。
 ※配管省略記号の※○(英字)は、以降四文字に続く。
 ※断面配管処理は平面図による。

※配管、タクト共に1階室内のろば・ステージの保温外装は室内露出仕様とし、それ以外の仮想天井(スリット天井)内の保温外装は天井内仕様とする。

注記2

- 1) 特記無き排水口耐圧は、JIS5K(一時間のみ10K)とする。
- 2) 屋外で使用する配管用ブラケット及び点検ステップ等は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- 3) 区画貫通配管は、貫通部分を不燃材で埋めること。
- 4) 設置、転倒防止の措置は国土交通省告示第1447号「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改訂する件」に対応する事。
- 5) 電気温水器の排水は、簡便排水でトラップ付とすること。
- 6) 床上排水口の設置場所は、意匠を考慮し施工すること。

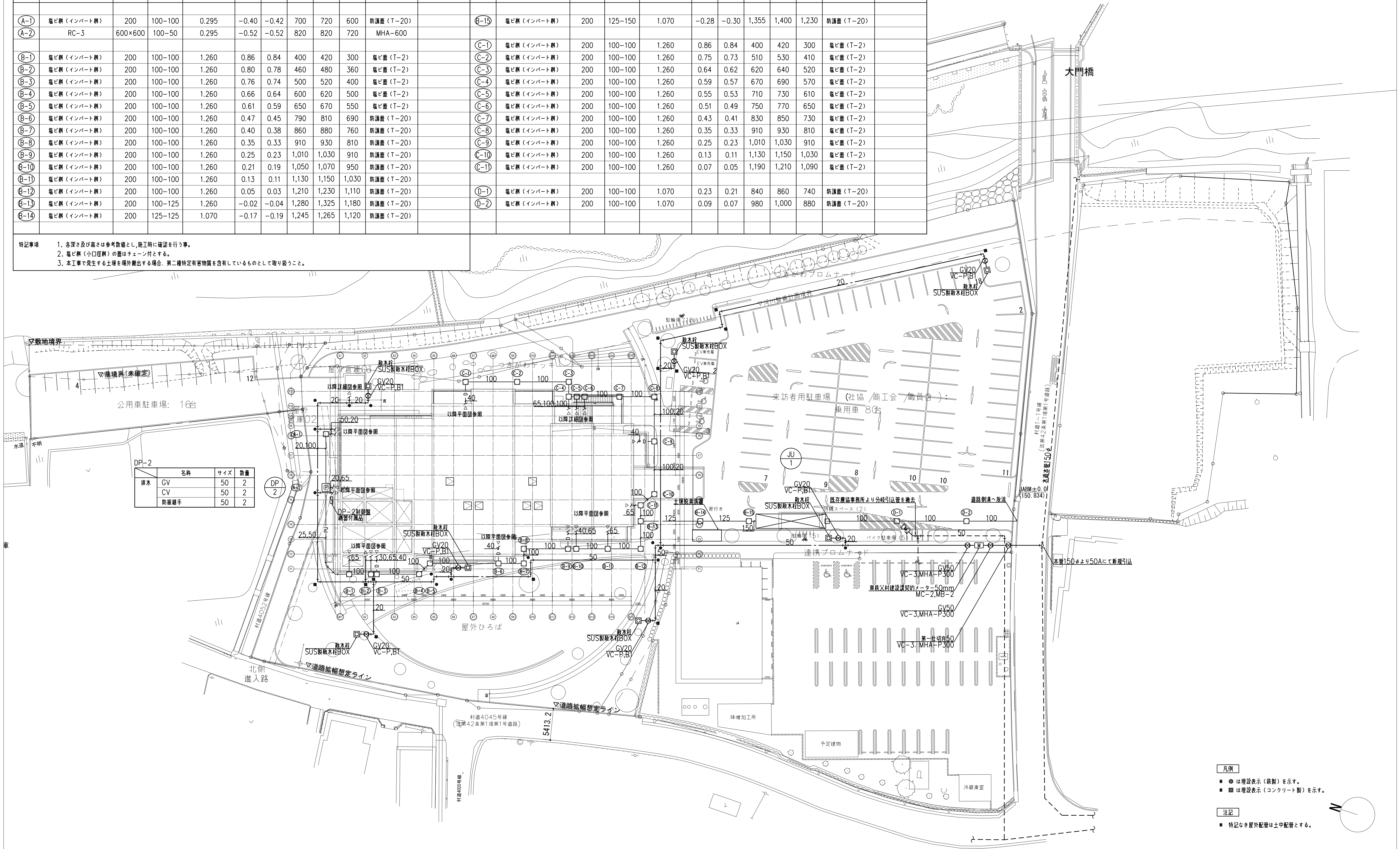
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-203
			図面名称 給排水衛生設備 系統図				

汚 水 罫 リ ス ト

NO	罫 種 類 (仕様)	罫 寸 法	接続管サイズ 流入～流出 (mm)	地 盤 高 (KBM基準) (m)	管底高 (KBM基準)		罫 深 さ		土 被 り (mm)	罫 蓋	備 考	NO	罫 種 類 (仕様)	罫 寸 法	接続管サイズ 流入～流出 (mm)	地 盤 高 (KBM基準) (m)	管底高 (KBM基準)		罫 深 さ		土 被 り (mm)	罫 蓋	備 考	
					流入 (m)	流出 (m)	流入 (mm)	流出 (mm)									流入 (m)	流出 (m)	流入 (mm)	流出 (mm)				
(A-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	0.295	-0.40	-0.42	700	720	600	防護蓋 (T-20)		(B-15)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	125-150	1.070	-0.28	-0.30	1,355	1,400	1,230	防護蓋 (T-20)		
(A-2)	RC-3	600×600	100-50	0.295	-0.52	-0.52	820	820	720	MHA-600														
(B-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.86	0.84	400	420	300	塩ビ蓋 (T-2)		(C-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.86	0.84	400	420	300	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-2)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.80	0.78	460	480	360	塩ビ蓋 (T-2)		(C-2)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.75	0.73	510	530	410	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-3)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.76	0.74	500	520	400	塩ビ蓋 (T-2)		(C-3)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.64	0.62	620	640	520	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-4)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.66	0.64	600	620	500	塩ビ蓋 (T-2)		(C-4)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.59	0.57	670	690	570	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-5)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.61	0.59	650	670	550	塩ビ蓋 (T-2)		(C-5)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.55	0.53	710	730	610	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-6)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.47	0.45	790	810	690	防護蓋 (T-20)		(C-6)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.51	0.49	750	770	650	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-7)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.40	0.38	860	880	760	防護蓋 (T-20)		(C-7)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.43	0.41	830	850	730	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-8)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.35	0.33	910	930	810	防護蓋 (T-20)		(C-8)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.35	0.33	910	930	810	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-9)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.25	0.23	1,010	1,030	910	防護蓋 (T-20)		(C-9)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.25	0.23	1,010	1,030	910	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-10)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.21	0.19	1,050	1,070	950	防護蓋 (T-20)		(C-10)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.13	0.11	1,130	1,150	1,030	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-11)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.13	0.11	1,130	1,150	1,030	防護蓋 (T-20)		(C-11)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.07	0.05	1,190	1,210	1,090	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-12)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.05	0.03	1,210	1,230	1,110	防護蓋 (T-20)		(D-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.070	0.23	0.21	840	860	740	防護蓋 (T-20)		
(B-13)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-125	1.260	-0.02	-0.04	1,280	1,325	1,180	防護蓋 (T-20)		(D-2)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.070	0.09	0.07	980	1,000	880	防護蓋 (T-20)		
(B-14)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	125-125	1.070	-0.17	-0.19	1,245	1,265	1,120	防護蓋 (T-20)														

特記事項

- 各深さ及び高さは参考数値とし、施工時に確認を行う事。
- 塩ビ罫 (小口径罫) の蓋はチェーン付とする。
- 本工事で発生する土壌を場外搬出する場合、第二種特定有害物質を含有しているものとして取り扱うこと。



凡例

- ※ ● は埋設表示 (鉄製) を示す。
- ※ ■ は埋設表示 (コンクリート製) を示す。

注記

- ※ 特記なき屋外配管は土中配管とする。

特記

工事名称
東秩父村新庁舎建設工事

図面名称
給排水衛生設備 配置図

図面尺度

1/300 (A1)

1/600 (A3)

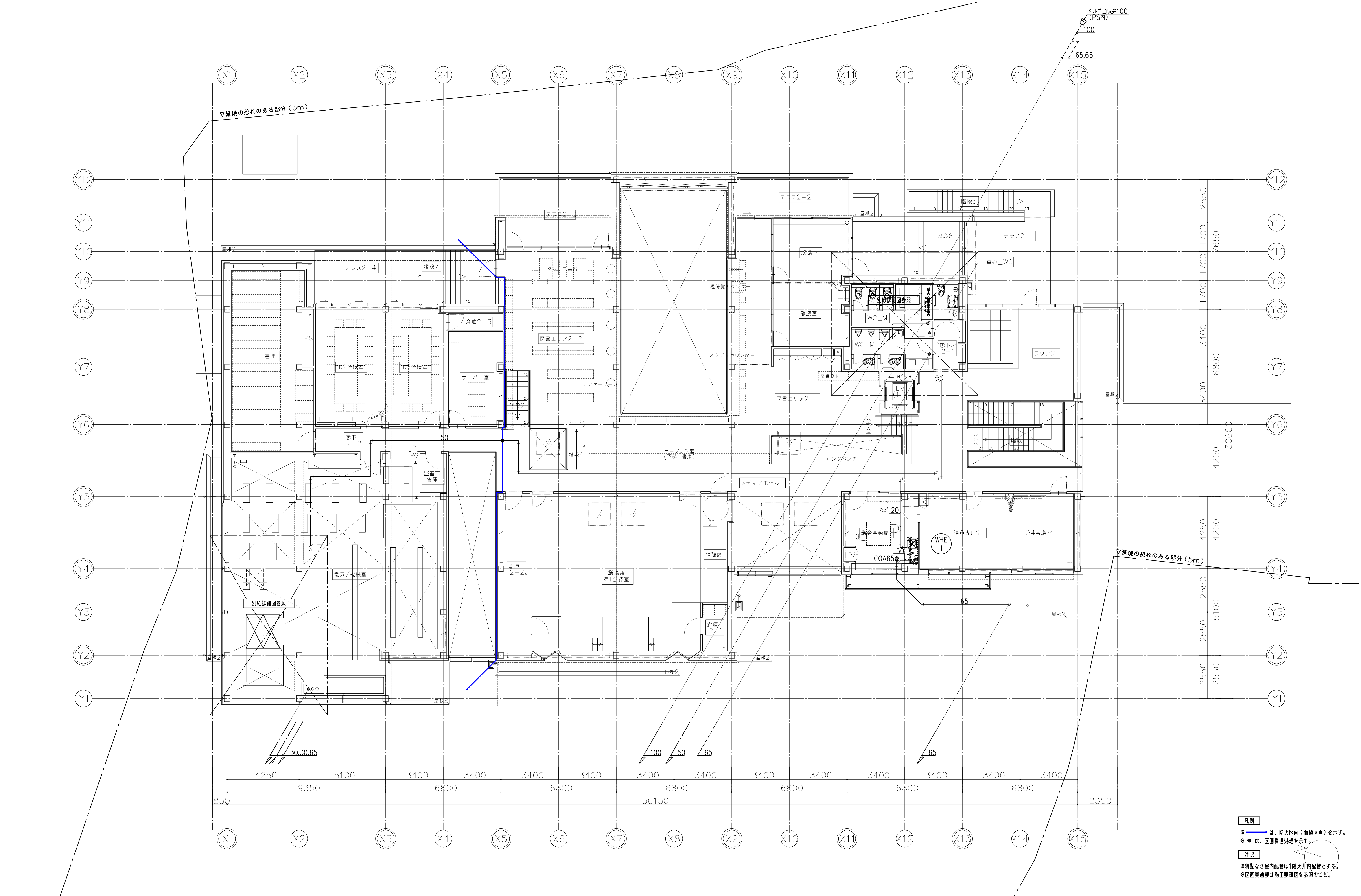
日付

区分

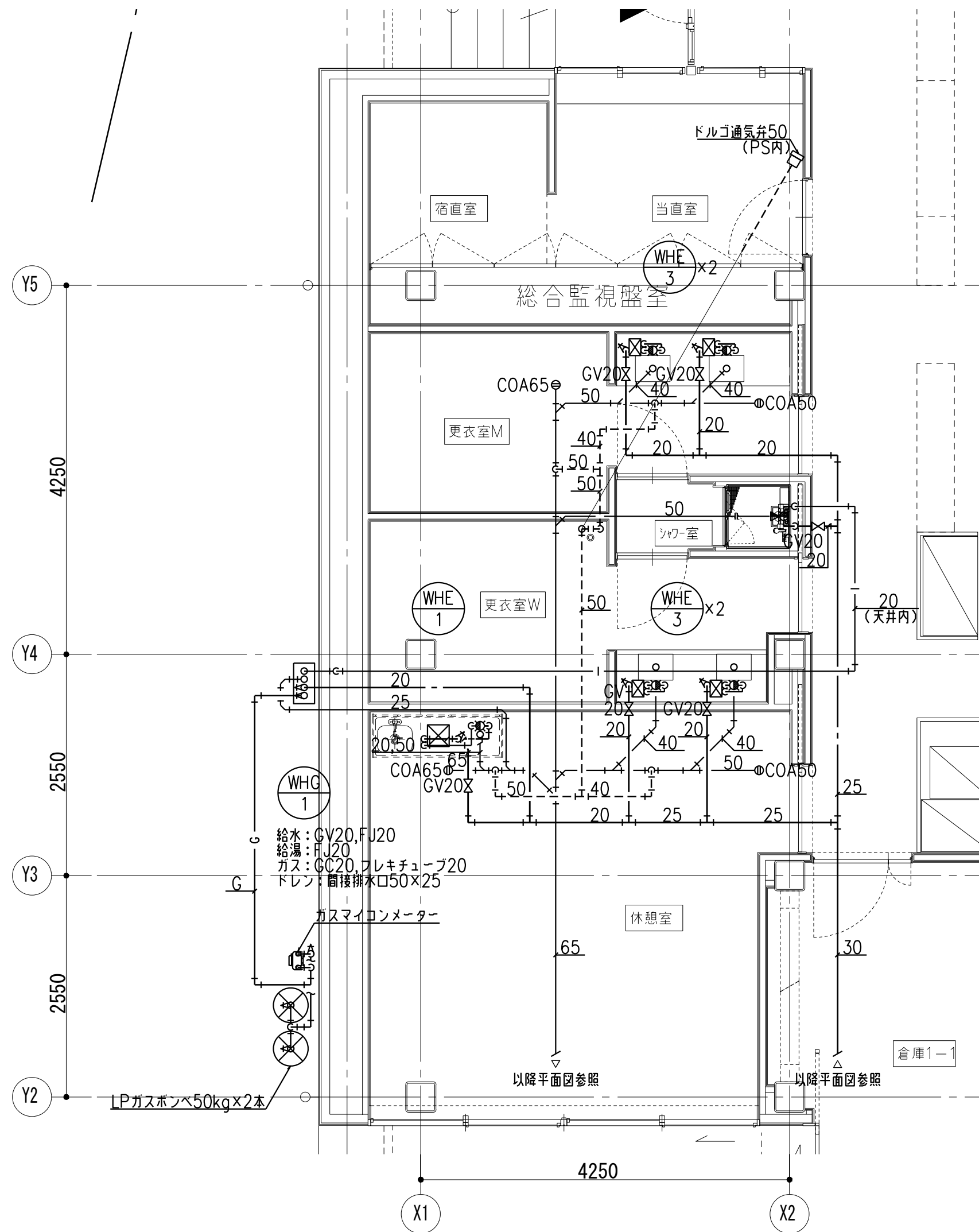
機械設備

図面番号

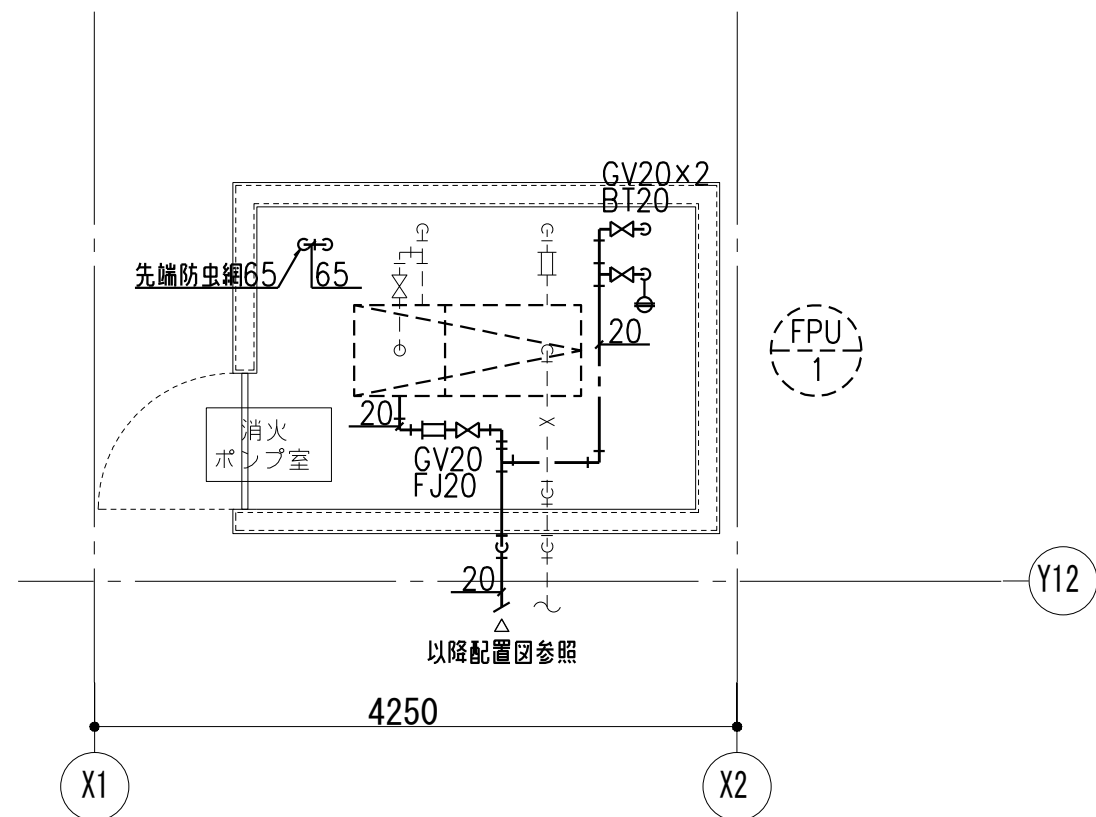
M-204



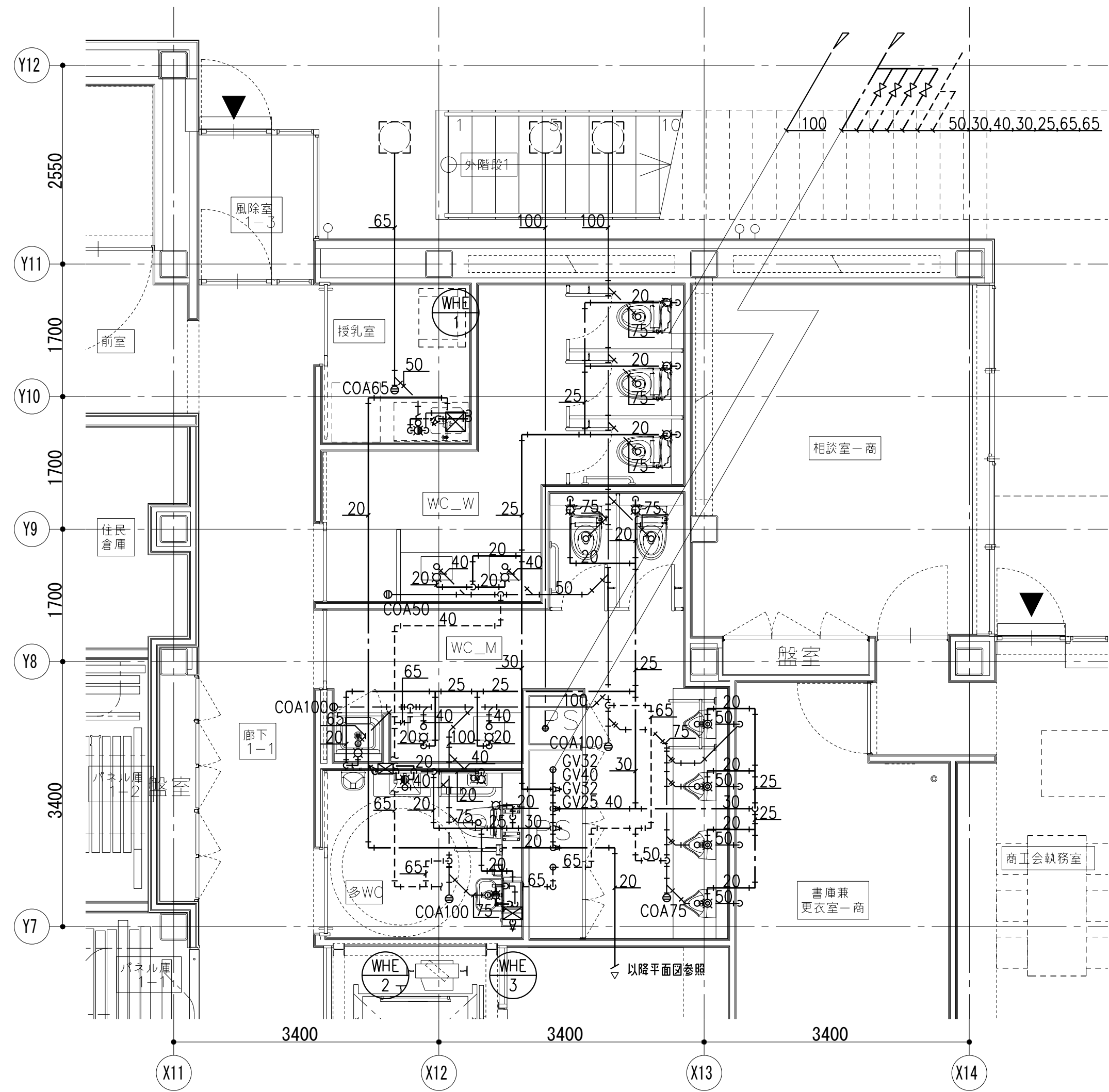
	特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
		東秩父村新庁舎建設工事	1/100 (A1)		機械設備	M-206
		図面名称	1/200 (A3)			
		給排水衛生設備 2階平面図				



1階 更衣室廻り詳細図 S=1/50
※特記なき屋内配管はビット内配管とする

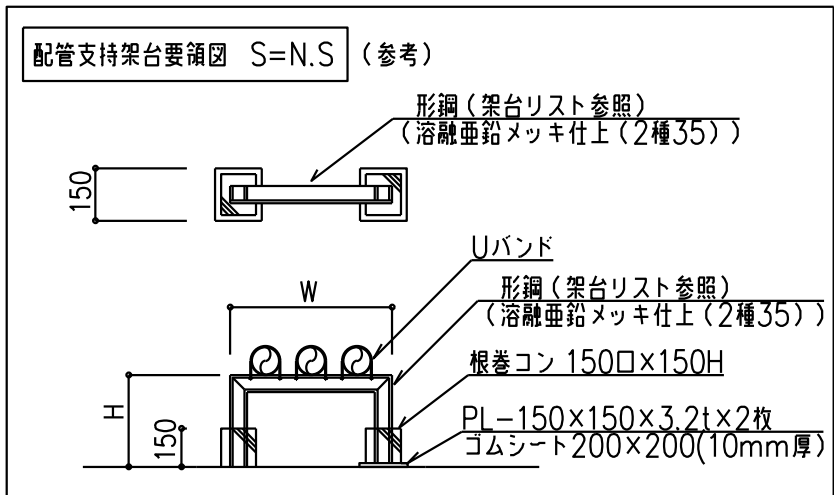


1階 消火ポンプ室詳細図 S=1/50
※特記なき配管は露出配管とする

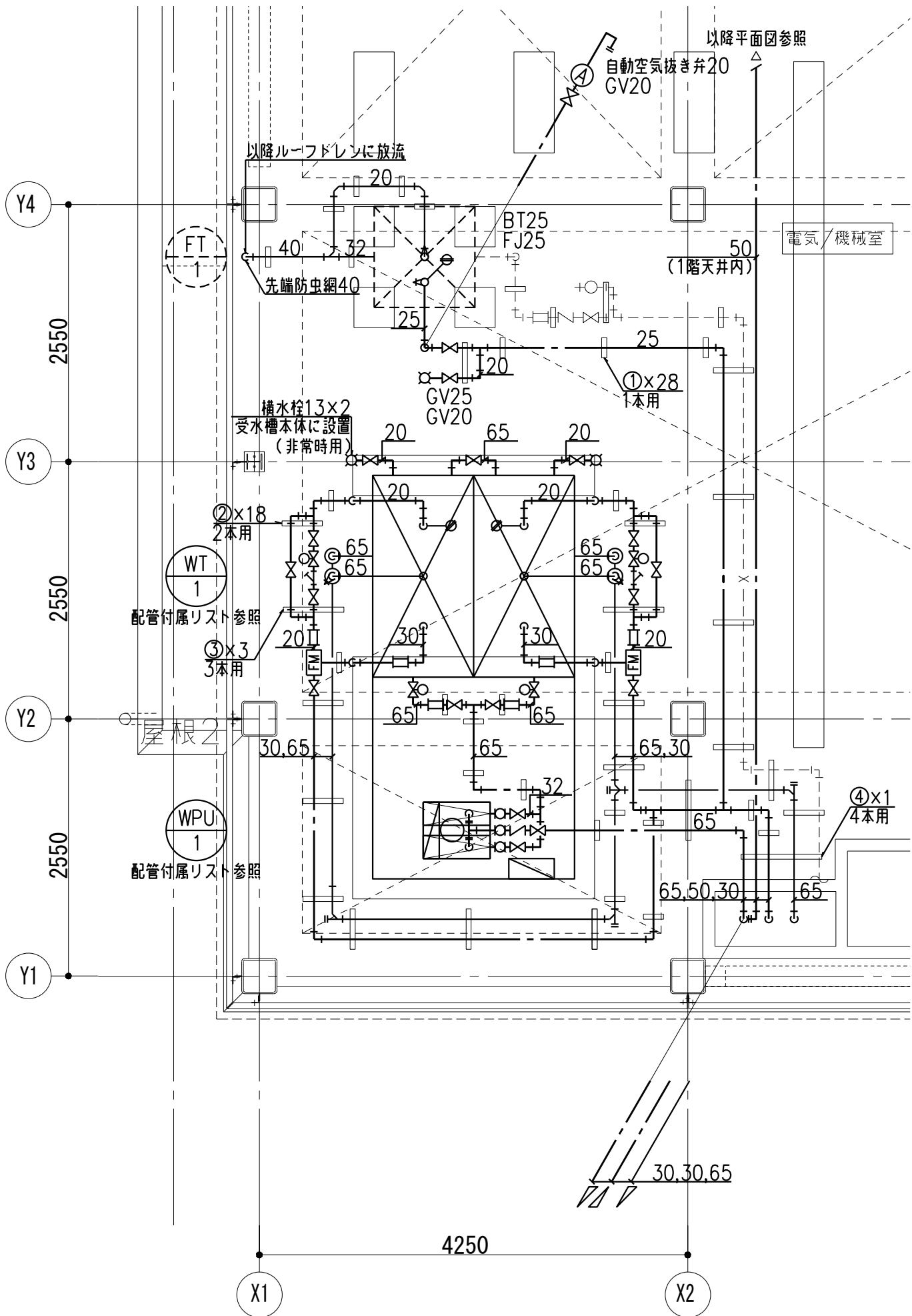


1階 トイレ廻り詳細図 S=1/50
※特記なき配管はビット内配管とする

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/50 (A1)			
			図面名称	1/100 (A3)		機械設備	M-207
			給排水衛生設備 平面詳細図 (1)				



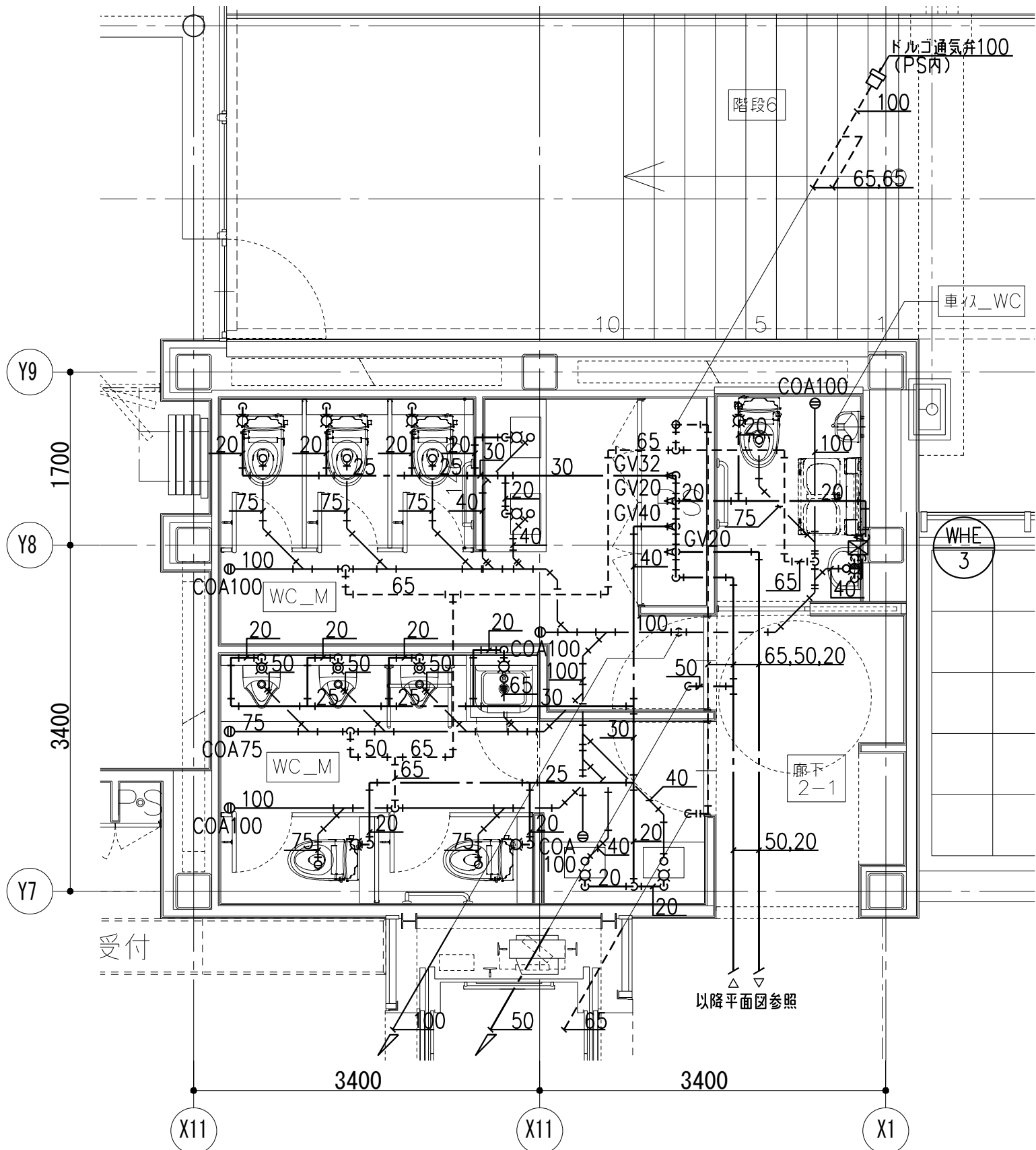
記号	備要	架台寸法		形鋼仕様	備取
		W (mm)	H (mm)		
①	1段 1本用	200	500	L-65×65×5t	28
②	1段 2本用	400	500	L-65×65×5t	18
③	1段 3本用	600	500	L-65×65×5t	3
④	1段 4本用	800	500	L-65×65×5t	1



2階 受水槽詳細図 S=1/50
※特記なき配管は露出配管とする

WT-1		
給水	GV (10K) 32	2
流入側	FJ32	2
	FJ20	2
	電磁弁装置20	2
	定水位弁32	2
	Y形ストレーナ20	2
	ボールタップ20	2
給水	BV65	2
流出側	FJ65	2
	緊急遮断弁装置65	2
	(緊急弁制御盤含む)	
給水	BV65	1
連通管		
給水	GV20+横水柱	2
非常時用水柱		
排水	GV (5K) 65	2
	防虫網65	4
	簡接排水口125×65	4

WPU-1		
給水	GV (10K) 32	2
流入側	防塵継手32	2
給水	BV65	1
吐出側	CV65	1
	防塵継手65	1



2階 トイレ廻り詳細図 S=1/50
※特記なき配管は1階天井内配管とする

特記

工事名称
東秩父村新庁舎建設工事

図面名称
給排水衛生設備 平面詳細図 (2)

図面尺度

1/50 (A1)
1/100 (A3)

日付

区分

機械設備

図面番号

M-208

消 火 設 備 機 器 表

記 号	機 器 名	台数	機 器 仕 様	電 力 量 50Hz(参考)			起 動	非 常 電 源	設 置 場 所		備 考
				φ	V	kW			階	室 名	
FPU-1	屋内消火栓用ポンプユニット	1	型 式 :屋内消火栓ポンプユニット(消防認定品)						1	消火ポンプ室	コンクリート基礎(建築工事)
			制 御 盤 :ELB、外部警報端子、力率改善リアクトル、ノイズフィルター、始動リレーボックス収納スペース								消火ポンプ制御盤からの移報 (電気設備工事)
			能 力 :50φ×50φ×180L／min×50m	3	200	3.7	L-S	○			
			耐 震 :1.0G								
			付 属 品 :制御盤(外部警報端子付)、呼水槽、圧力チャンパー、架台、フート弁								
			水温上昇防止用逃し装置、性能試験装置バルブ、他標準付属品一式								
FT-1	消火用充水槽	1	型 式 :SUS製一体型(角型)	-	-	-	-	-	2	電気／機械室	コンクリート基礎(建築工事)
			容 量 :0.3m3(有効)								
			参考寸法 :0.8(W)×0.8(D)×1.1(H)								
			耐 震 :2.0G								
			付 属 品 :架台(溶融垂鉛メッキ、1500H)、								
			電極座×1組(電極棒3P×1組)								
			マンホール蓋(鍵付／350φ)×1、防虫網付通気口×1								
			SUS製組立ボルト、SUS製アンカーボルト、他標準付属品一式								
HB-1	屋内消火栓箱	4	型 式 :広範囲型2号消火栓(埋込総合型、銅板製、消火器組込型)	1	100	-	-	○	1	執務エリア1-2(1箇所)	指定色仕上げ
			参考寸法 :1.1(W)×0.2(D)×1.4(H)						1	コミュニティホール(1箇所)	消火器別途(備品対応)
			付 属 品 :消火栓30A(回転式・減圧弁付)、ホース30A×30m×1本						2	廊下2-2(1箇所)	
			噴霧切替ノズル、リング型表示灯、発信機、他標準付属品一式						2	廊下2-1(1箇所)	

特記事項

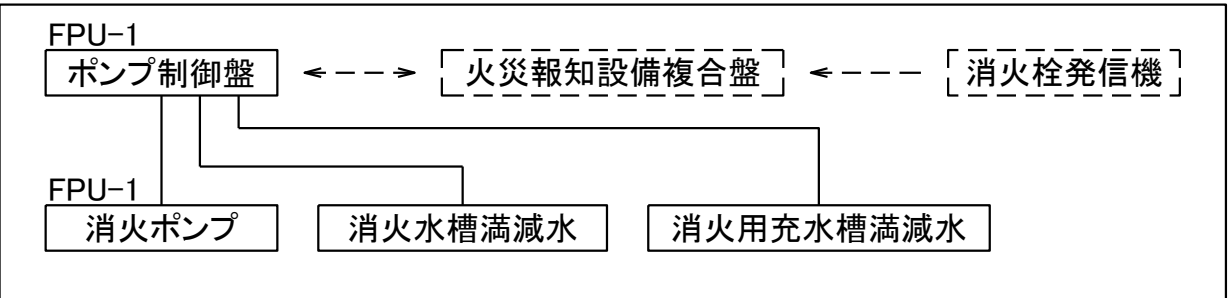
1. 電気容量(消費電力)は参考値とする。
2. 標準付属品共とする。

3. 警報の範囲は備考欄により、移報先は火災報知設備複合盤(電気設備工事)とする。
また、警報に係わる配管配線は電気設備工事とする。

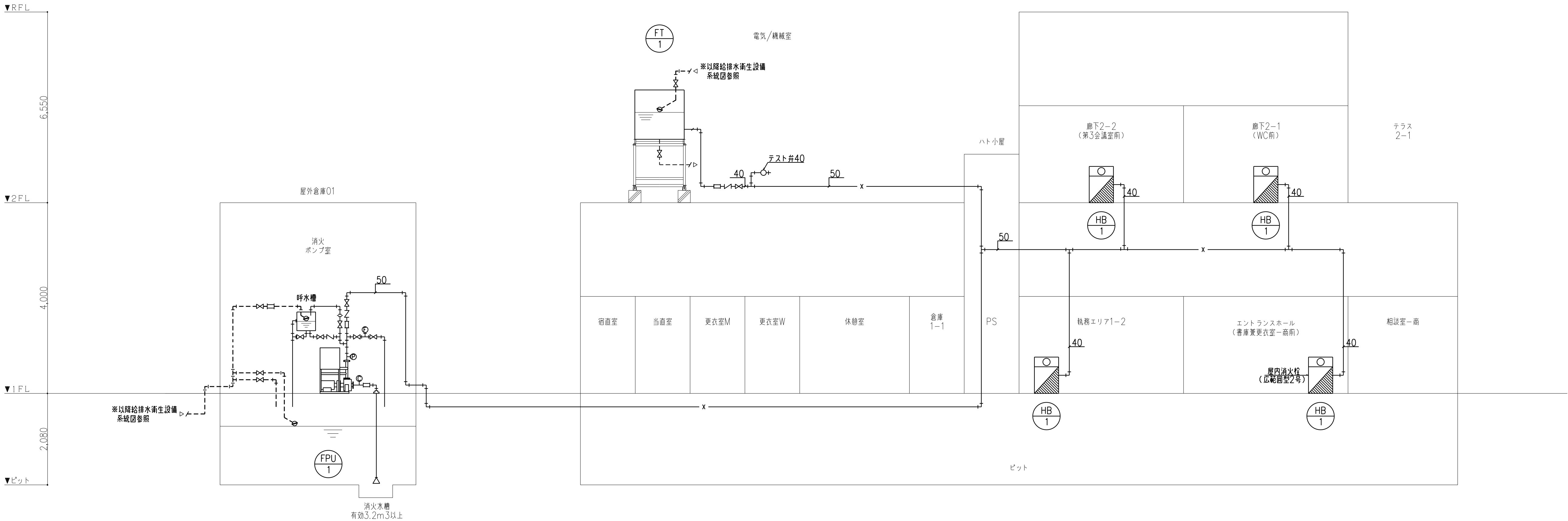
ポンプ揚水量	
屋内消火栓設備	2台同時放水
(広範囲型2号)	2台同時 × 90L/min =180L/min

水源容量	
屋内消火栓設備	2台同時放水 × 1.6m3 = 3.2m3
(広範囲型2号)	有効 3.2m3 以上

消火設備警報概念図



※各機器間の移報に係わる破線部の配管配線は電気設備工事とする。



系統図

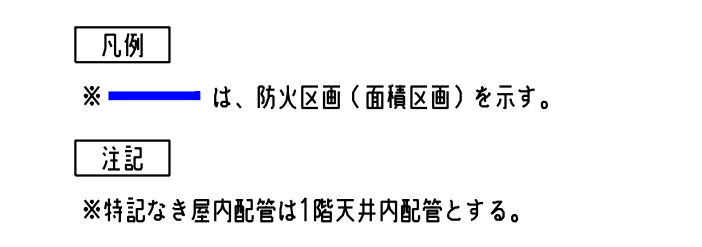
注記

※各配管、ダクト共に1F屋内ひろば・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の仮想天井（スリット天井）内の保温外装は天井内仕様とする。

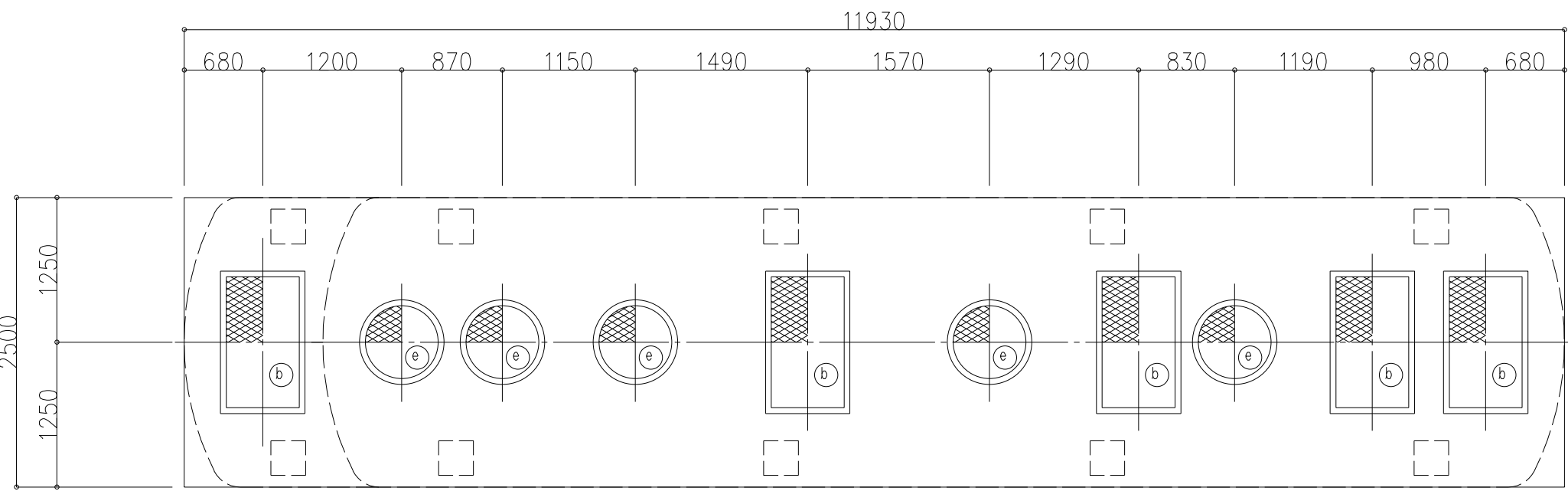
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-210
			図面名称				
			消火設備 系統図				



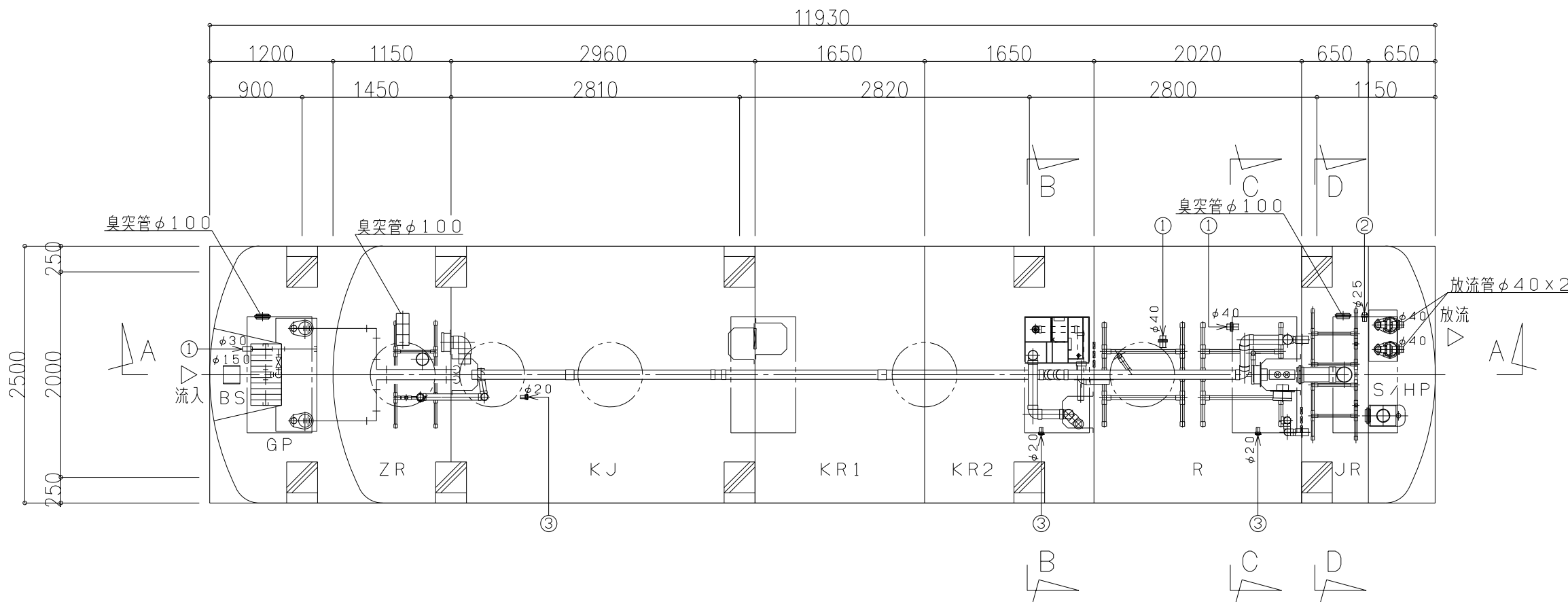
		特記	工事名称	東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
			図面名称	消火設備 1階平面図	1/100 (A1)		機械設備	M-211
					1/200 (A3)			



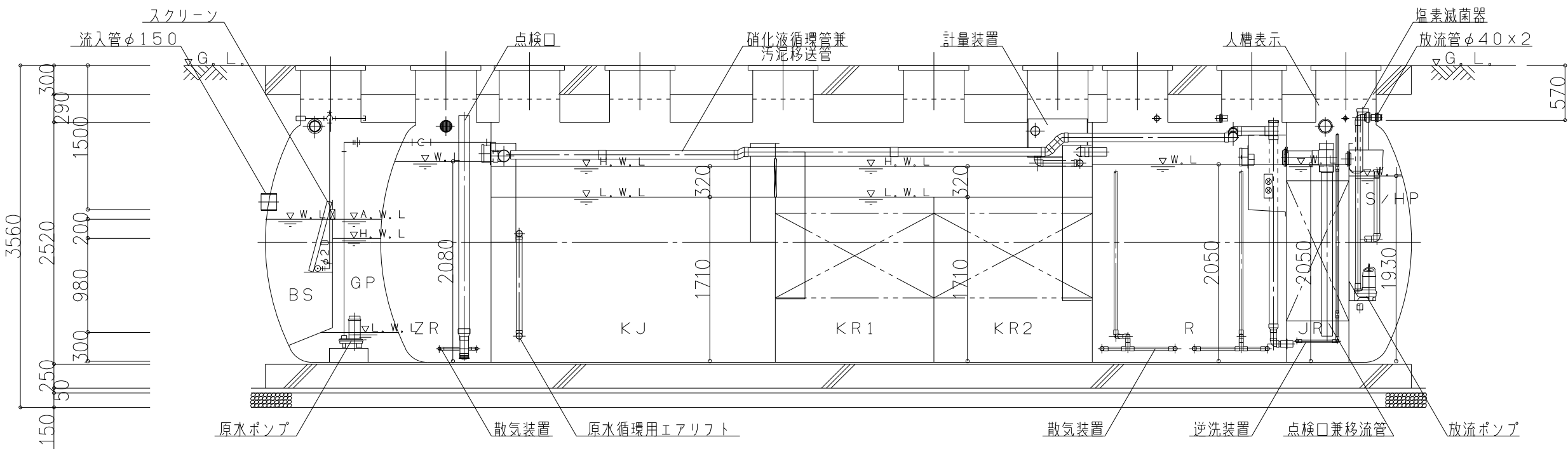
		特記	工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度 1/100 (A1)	日付	区分 機械設備	図面番号 M-212
			図面名称 消火設備 2階平面図	1/200 (A3)			



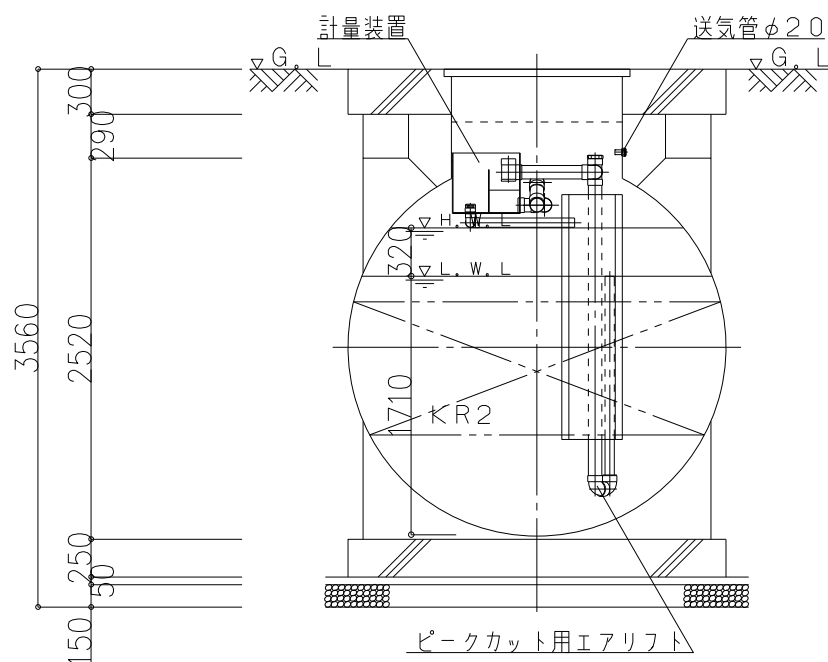
スラブ平面図 1/50



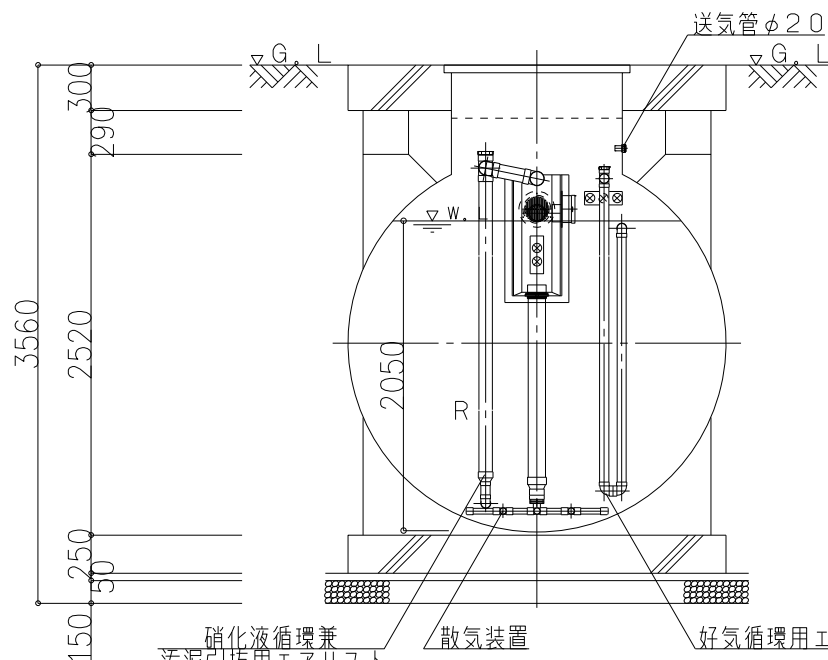
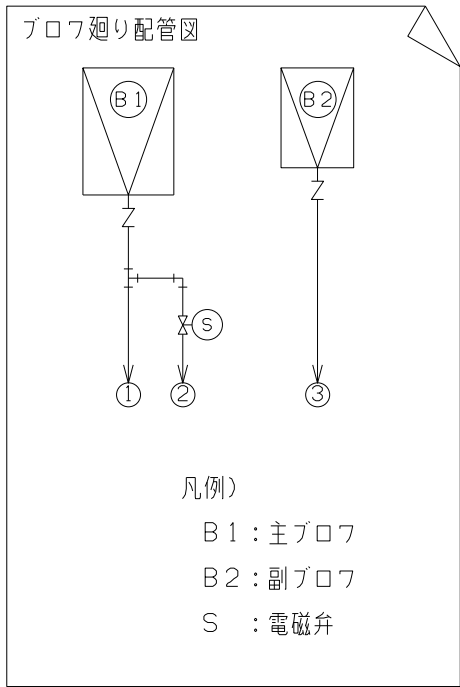
内部平面図 1/50



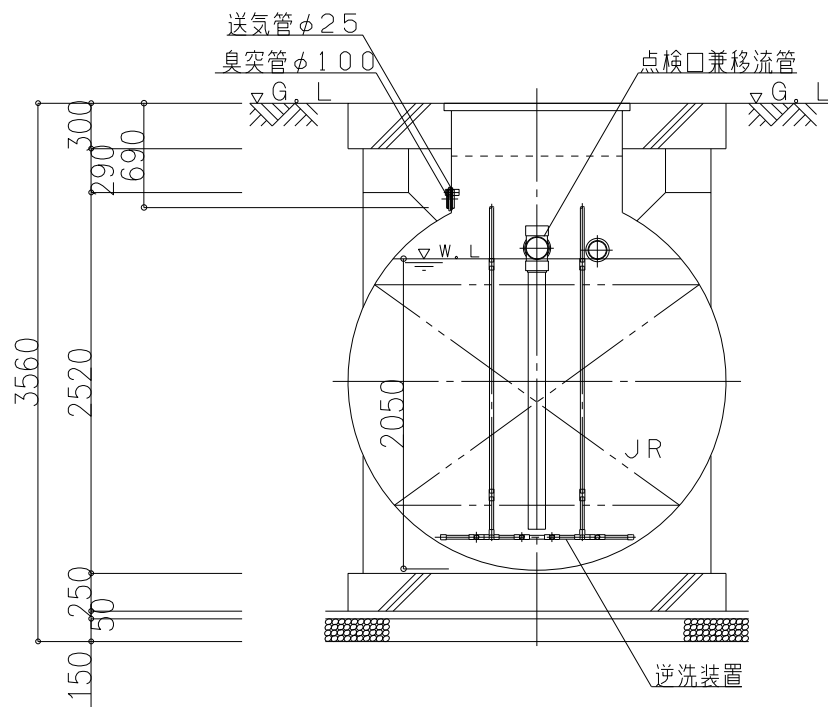
A-A断面図 1/50



B-B断面図 1/50



C-C断面図 1/50



D-D断面図 1/50

流入水質		放流水質	
BOD	200 mg/L	BOD	20 mg/L
T-N	70 mg/L	T-N	- mg/L

仕 様 表	
設計番号	TKB8132A
処理方式	縫気ろ床担体流動循環ろ過方式
型式名称	フジクリンプラント PCN?-130C型 (PNA112)
処理対象人員	130人
計画汚水量	22.3m ³ (排水時間 8時間)
機器名称	仕様
主プロフ	32A×0.75kW×0.77m ³ /min×1台
副プロフ	25A×0.75kW×0.45m ³ /min×1台
原水ポンプ	50A×0.25kW×0.14m ³ /min×2台
放流ポンプ	40A×0.25kW×0.14m ³ /min×2台
土壤脱臭ファン	0.40kW

容 積 表		
記号	槽名称	実有効容量
BS	ばっ気型スクリーン	0.60m ³
GP	原水ポンプ槽	1.94m ³
ZR	前置担体流動槽	4.05m ³
KJ	夾雑物除去槽	12.07m ³
KR1	縫気濾床槽第1室	6.97m ³
KR2	縫気濾床槽第2室	6.67m ³
R	担体流動槽	8.62m ³
JR	循環濾過槽	2.47m ³
S/HP	消毒槽兼放流ポンプ槽	0.92m ³ /0.99m ³

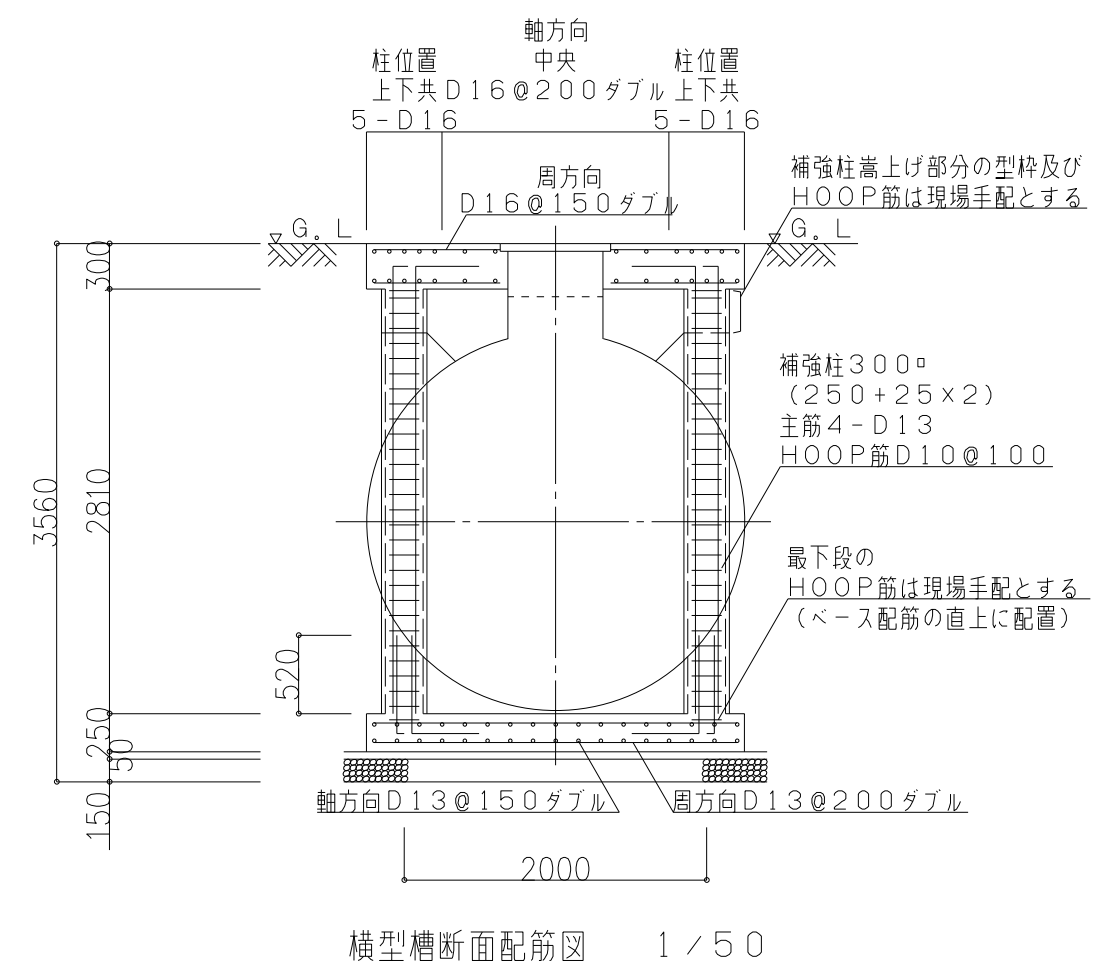
開 口 蓋 一 覧 表			
記号	呼称寸法	数量	仕様 材質
b	700×1200	5	5000K 蓋：鋳鉄、枠：SS
e	φ600	5	5000K 蓋：鋳鉄、枠：鋳鉄

配 管 仕 様 表	
露出配管 (プロフ回り)	SGP
土中配管	φ65以下~VP・φ75以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

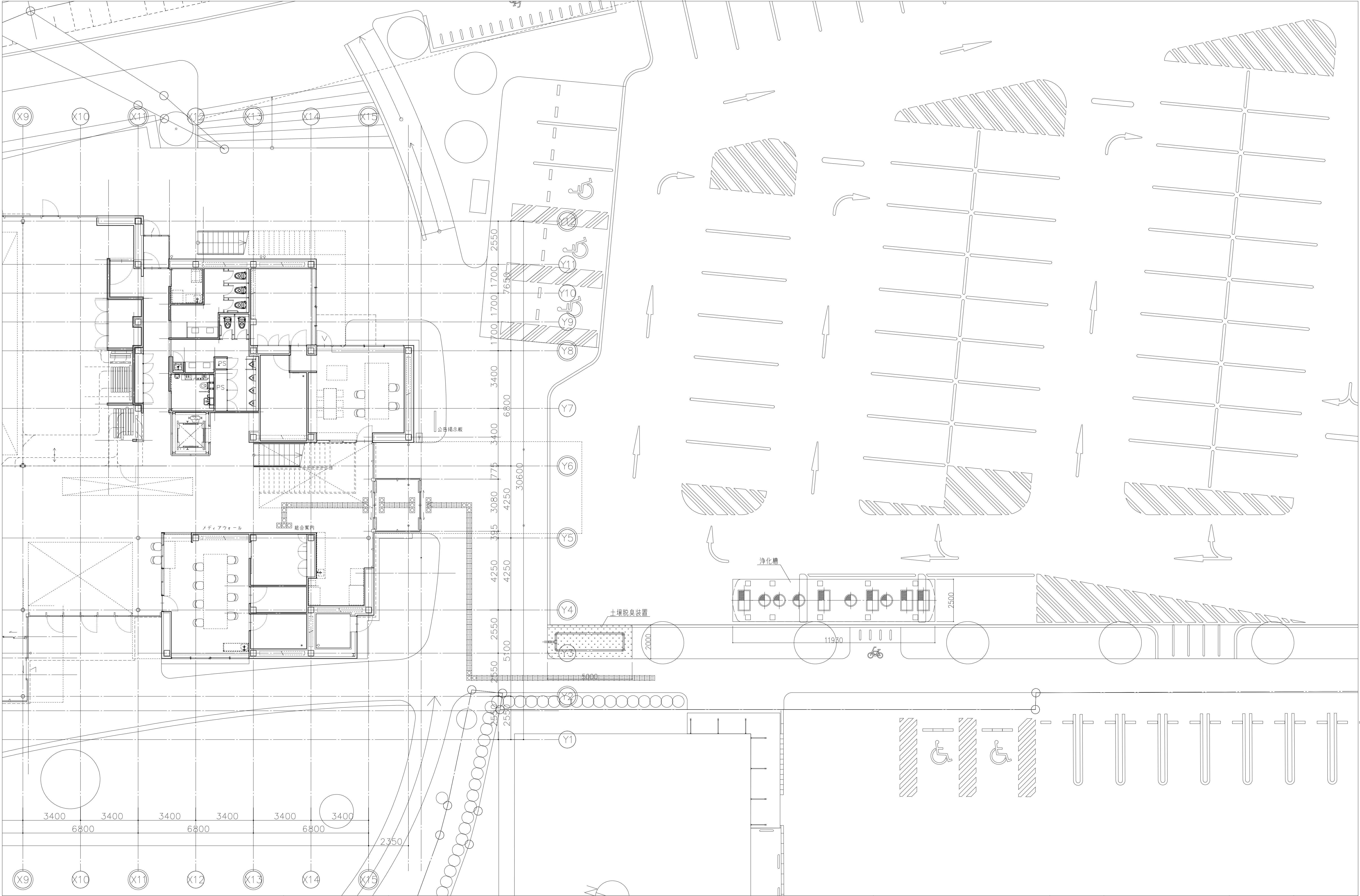
- 注1) 上部はT-20荷重とする。
- 注2) 機器電源は三相200V、総電力は3.1kW (脱臭ファン0.4kW含む) とする。
- 注3) 図中の「G、L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からプロフまでの距離は30m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭気工事は浄化槽へファンへ脱臭装置を本工事とする。
- 注7) 電気工事は二次側 (浄化槽制御盤以降) を浄化槽工事とする。
- 一次側 (電源引き込み、アース引き込み) は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 外部警報接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注9) 本設計条件における必要地耐力は56kN/m²以上必要とする。
- (実際の工事業者が確認後施工の事)
- 注10) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事、地盤調査は別途とする。
- 注11) 工事用水道使用料金 (水取用水費)、工事用仮設電源は別途とする。
- 注12) 埋め戻しは良質土にて行うこと。
- 注13) 散水柱13mm以上を5m以内に設置のこと。設置工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注14) 外構工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注15) 現状嵩上げ高さ：300mm、最高嵩上げ高さ：300mmまで
- 注16) 下記条件の場合は、浄化槽本体を補強仕様に変更する必要があります。
- (実際の工事業者が確認後施工の事)
- ・嵩上げ高さが300mmを超える場合
 - ・地下水位がGL-1000mmより高い場合
- 注17) 荷重影響線内に注1を超える荷重がある場合、機架の設置等が必要になります。

槽本体寸法・吊上目安重量
構型槽1 φ2500×11930L 目安重量：5770kg

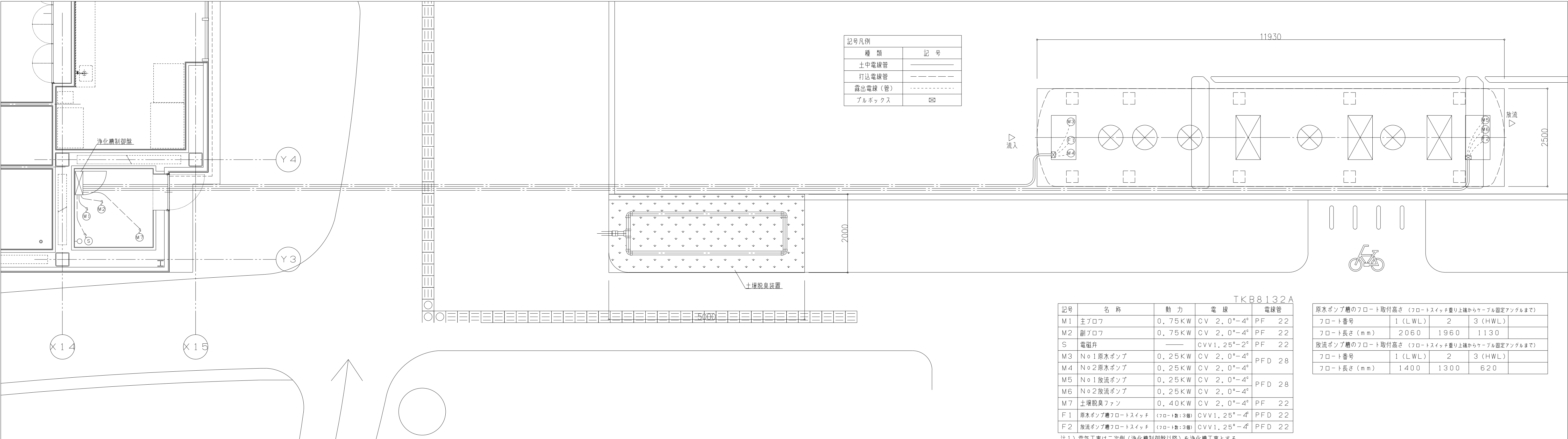
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/ 50 (A1)		機械設備	M-213
			図面名称	1/100 (A3)			
			合併浄化槽設備 仕様表・構造図				



		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/ 50 (A1)		機械設備	M-214
			図面名称				
			合併浄化槽設備 配筋図・土壌脱臭図	1/100 (A3)			



	特記	工事名称	東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	1/100 (A1)	区分	図面番号
		図面名称	合併浄化槽設備 配置図	1/200 (A3)			
						機械設備	M-215



記号凡例	
種 類	記 号
土中電線管	———
打込電線管	-----
露出電線（管）	-----
プルボックス	⊠

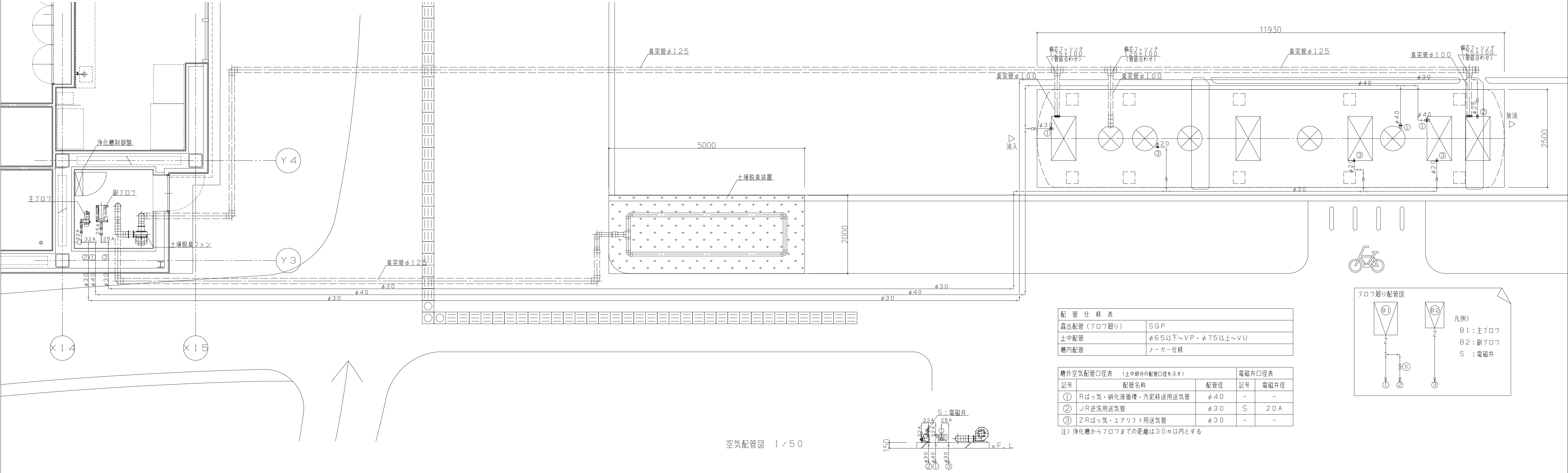
TKB8132A				
記号	名 称	動 力	電 線	電線管
M1	主プロフ	0.75KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	PF 22
M2	副プロフ	0.75KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	PF 22
S	電磁弁	—	CVV1.25 ^φ -2 ^φ	PF 22
M3	No.1原水ポンプ	0.25KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	PFD 28
M4	No.2原水ポンプ	0.25KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	
M5	No.1放流ポンプ	0.25KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	PFD 28
M6	No.2放流ポンプ	0.25KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	
M7	土壌脱臭ファン	0.40KW	CV 2.0 ^φ -4 ^φ	PF 22
F1	原水ポンプ槽フロートスイッチ (フロート数:3個)		CVV1.25 ^φ -4 ^φ	PFD 22
F2	放流ポンプ槽フロートスイッチ (フロート数:3個)		CVV1.25 ^φ -4 ^φ	PFD 22

原水ポンプ槽のフロート取付高さ（フロートスイッチ重り上端からケーブル固定アングルまで）				
フロート番号	1 (LWL)	2	3 (HWL)	
フロート長さ (mm)	2060	1960	1130	

放流ポンプ槽のフロート取付高さ（フロートスイッチ重り上端からケーブル固定アングルまで）				
フロート番号	1 (LWL)	2	3 (HWL)	
フロート長さ (mm)	1400	1300	620	

注1）電気工事は二次側（浄化槽制御盤以降）を浄化槽工事とする。
一次側（電源引き込み、アース引き込み）は浄化槽工事範囲外とする。
注2）外部警報接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注3）ケーブルの接続部は十分な防水処理を行うこと。
電線管確保部はコーキング処理を行うこと。

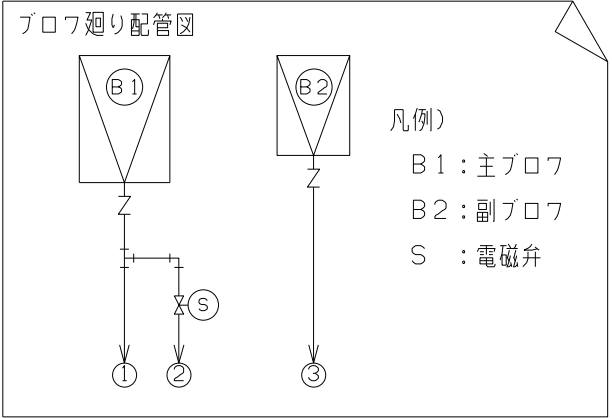
電気配管図 1 / 50



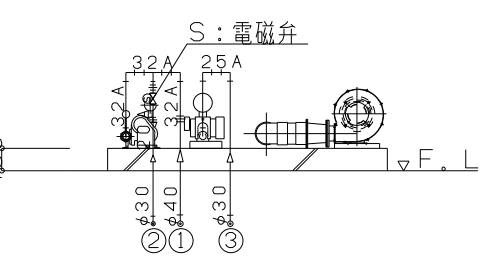
配 管 仕 様 表	
露出配管（プロフ廻り）	SGP
土中配管	φ65以下～VP・φ75以上～VU
槽内配管	メーカー仕様

槽外空気配管口径表 (土中部分の配管口径を示す)			電磁弁口径表	
記号	配管名称	配管径	記号	電磁弁口径
①	Rばっ気・硝化液循環・汚泥移送用送気管	φ40	-	-
②	JR逆流用送気管	φ30	S	20A
③	ZRばっ気・エアリフト用送気管	φ30	-	-

注）浄化槽からプロフまでの距離は30m以内とする

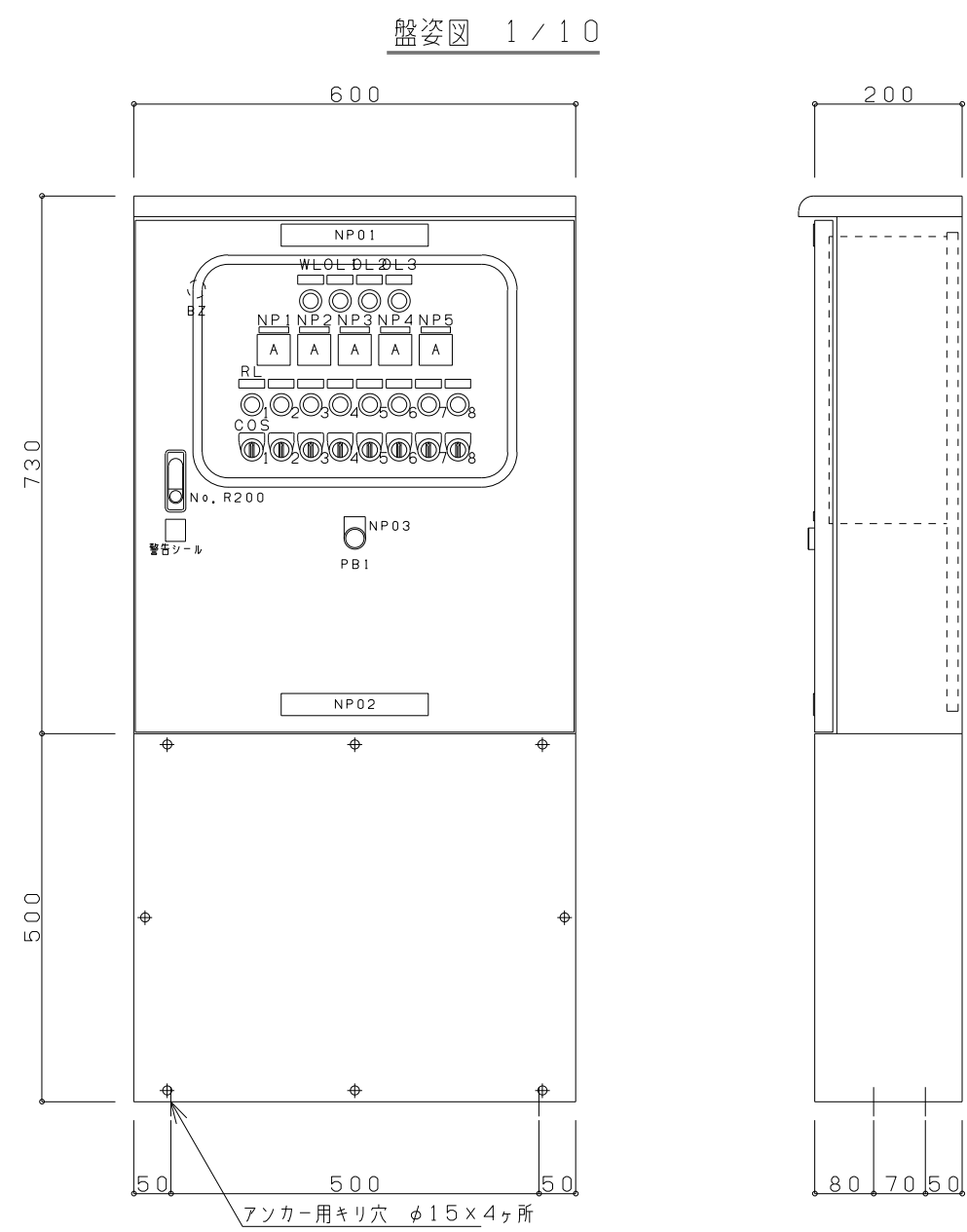
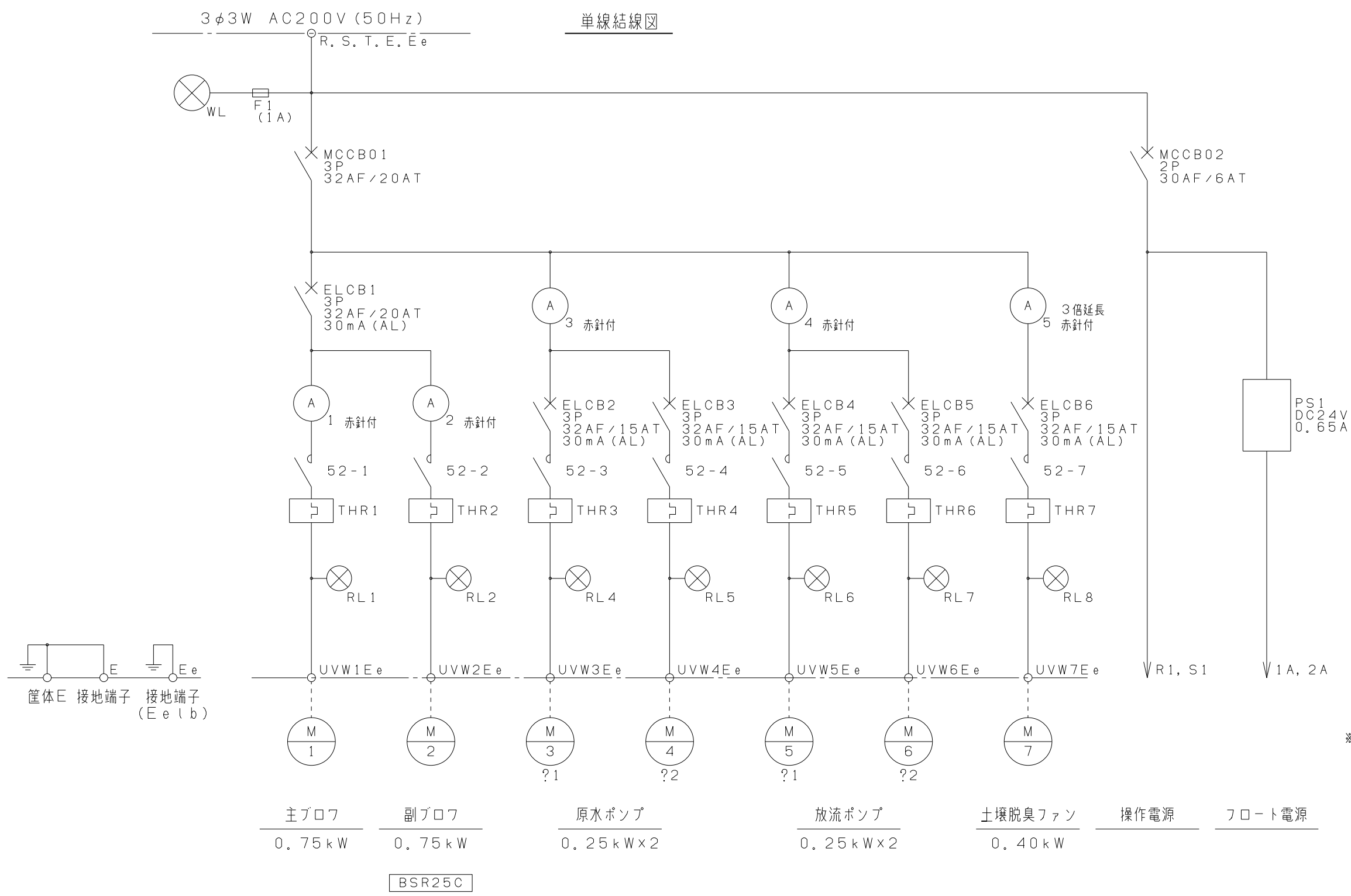


空気配管図 1 / 50



プロフ基礎断面参考図 1 / 50

特記	工事名称	東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	1/ 50 (A1)	日付	区分	図面番号
	図面名称	合併浄化槽設備 配管配線図					
				1/100 (A3)		機械設備	M-216



制御盤仕様

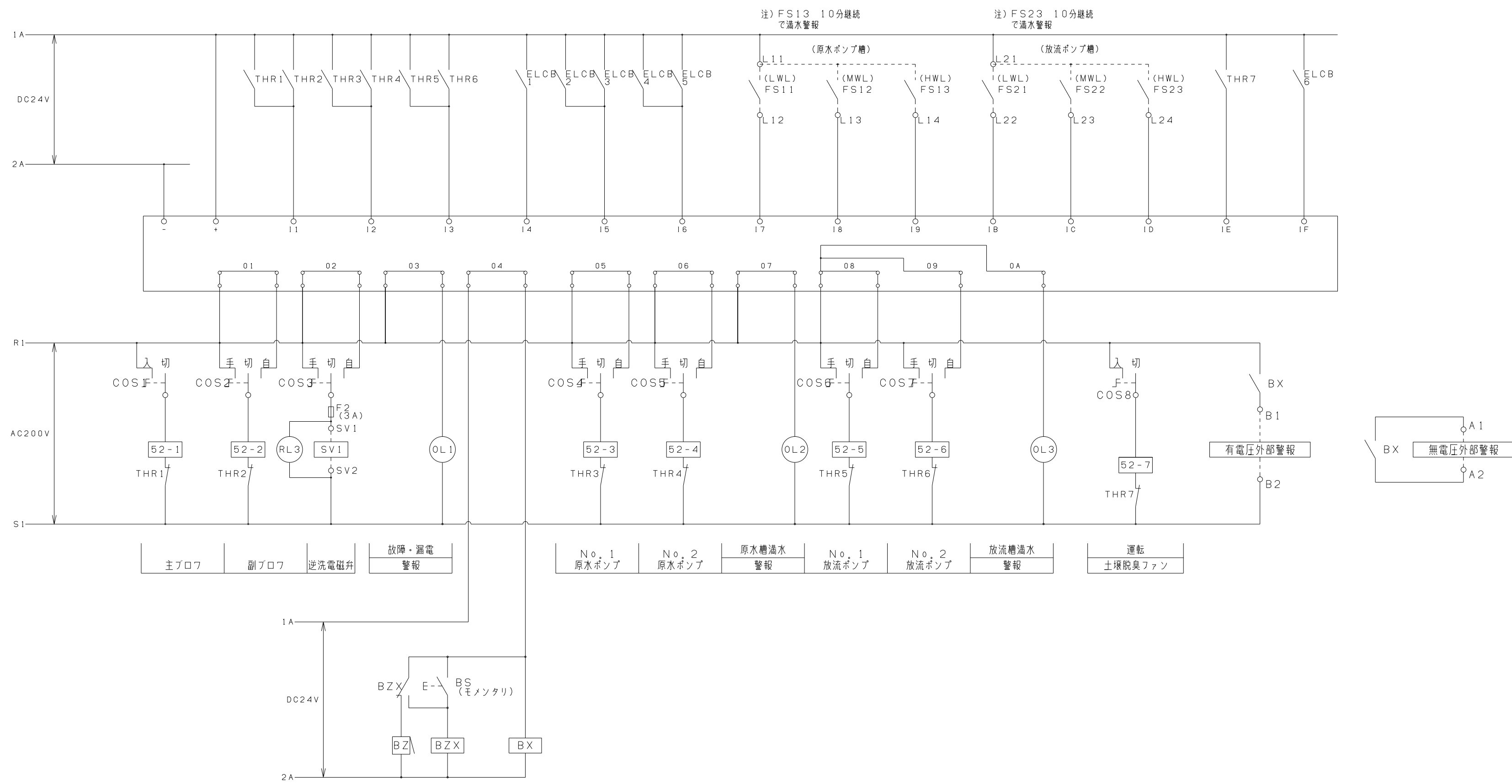
設計番号	TKB8132A
型 式	MRPCN206 (GHP) -SV1-EN-OP
構 造	水切、防水・防塵構造
板 厚	本体 1.6t (中板 2.3t) 扉 1.6t
塗 装	外面 マンセル5Y7ノ1 内面 マンセル5Y7ノ1

注) ファンは白熱球とする。

銘板表

記 号	名 称
NP01	浄化槽制御盤
NP02	フジクリーン工業株式会社
NP03	ブザー停止
NP 1	主プロフ
NP 2	副プロフ
NP 3	原水ポンプ
NP 4	放流ポンプ
NP 5	土壌脱臭ファン

操作回路図



特記

工事名称
東秩父村新庁舎建設工事

図面名称
合併浄化槽設備 制御盤図

図面尺度

日付

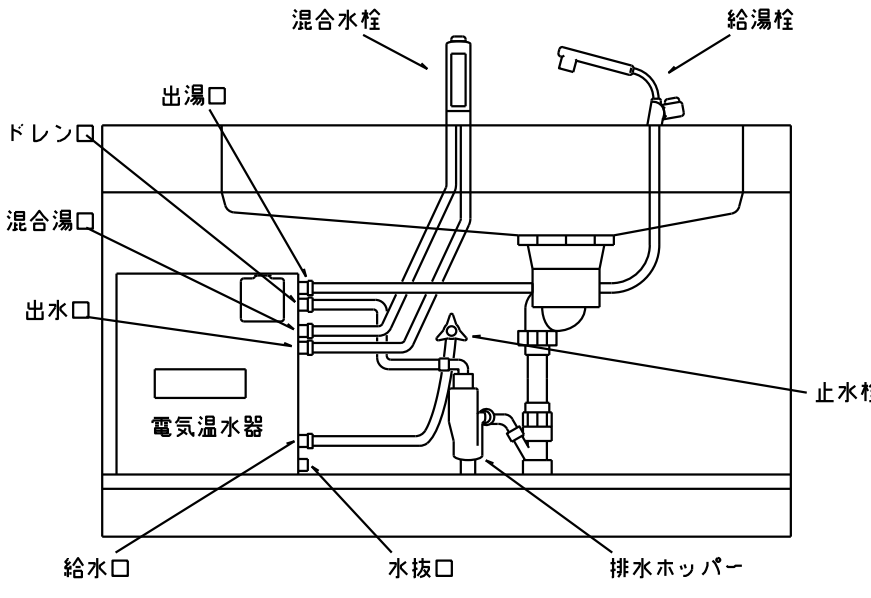
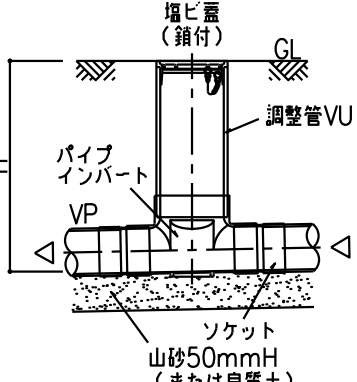
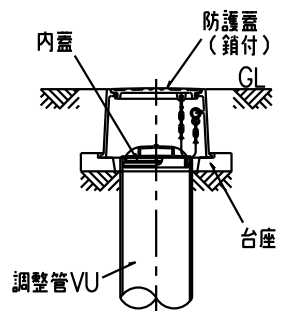
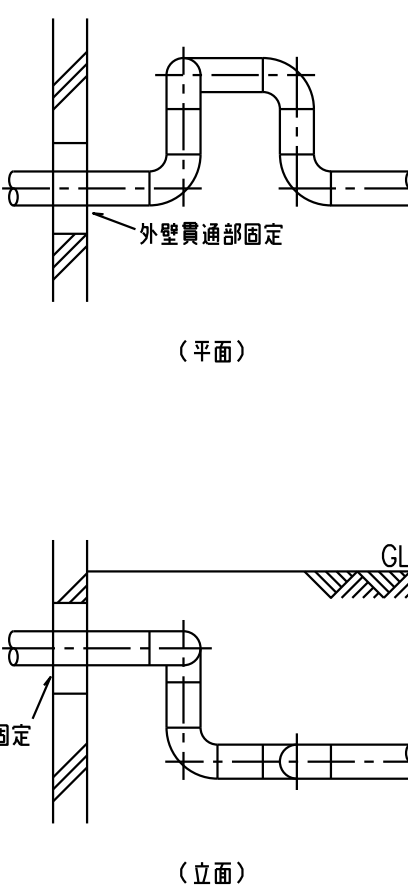
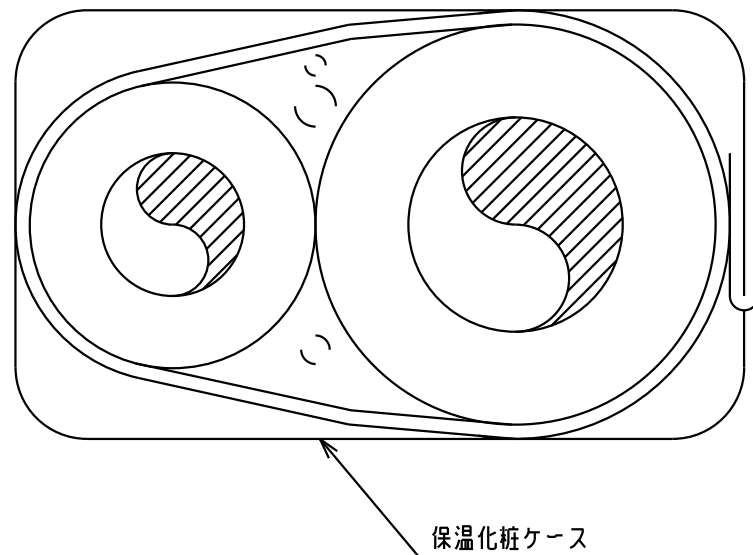
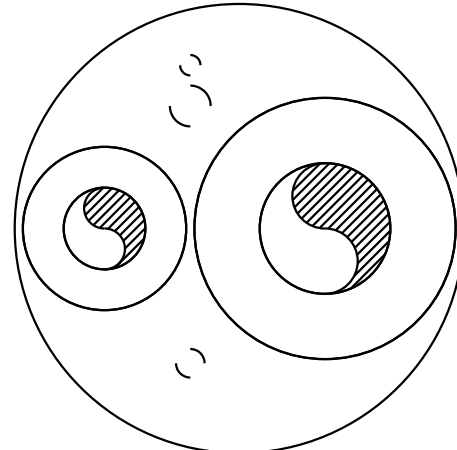
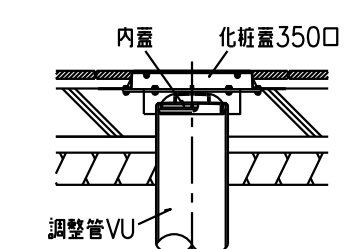
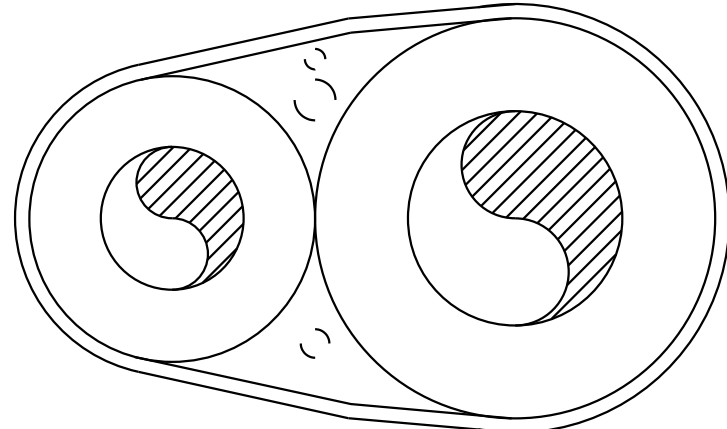
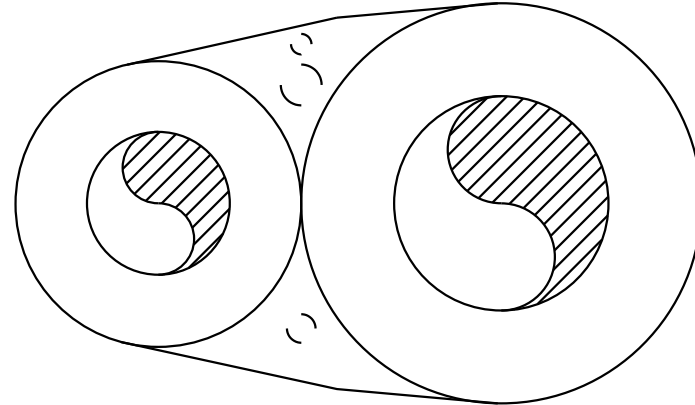
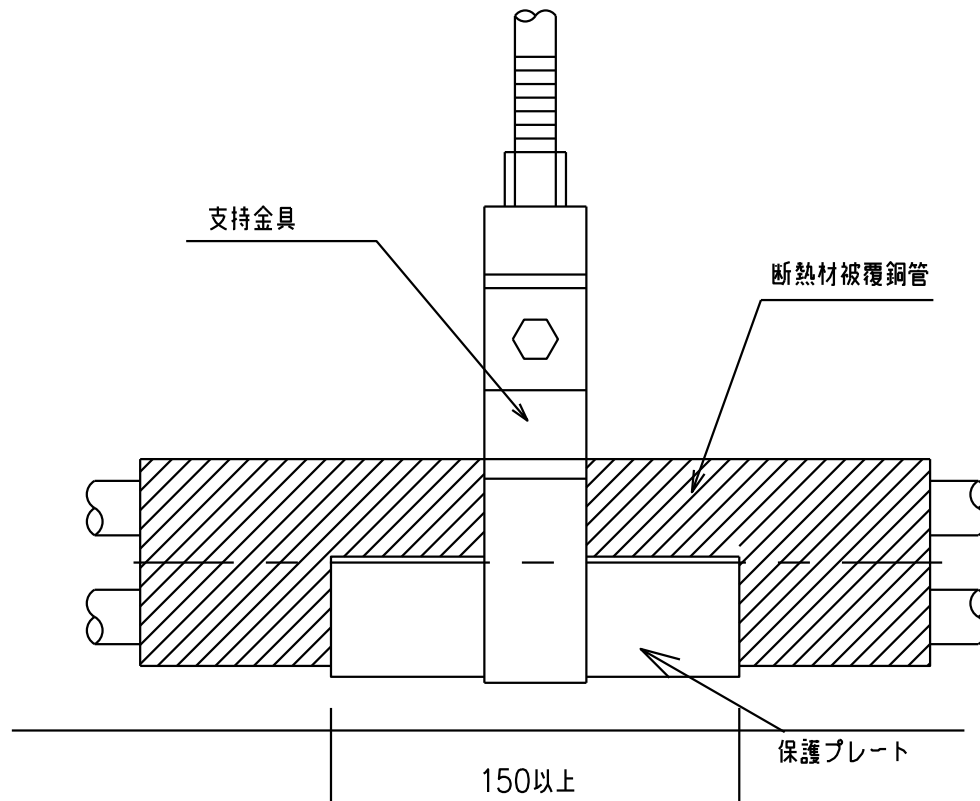
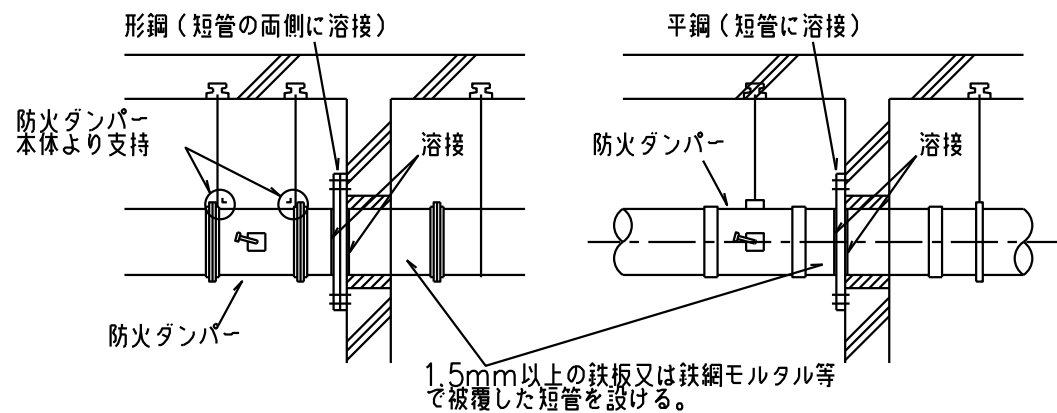
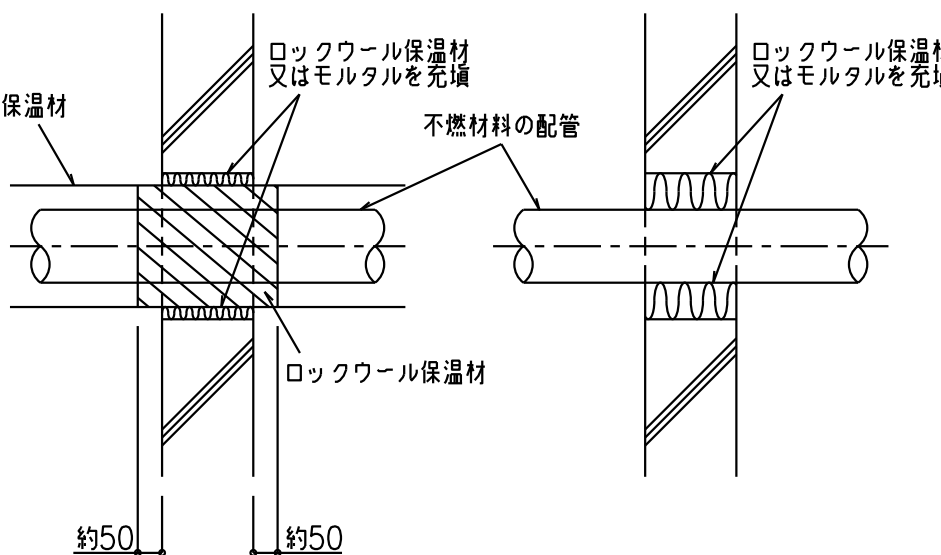
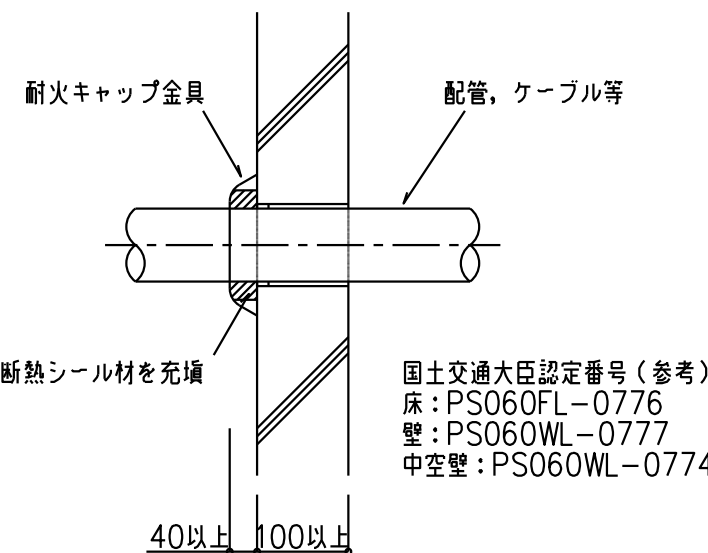
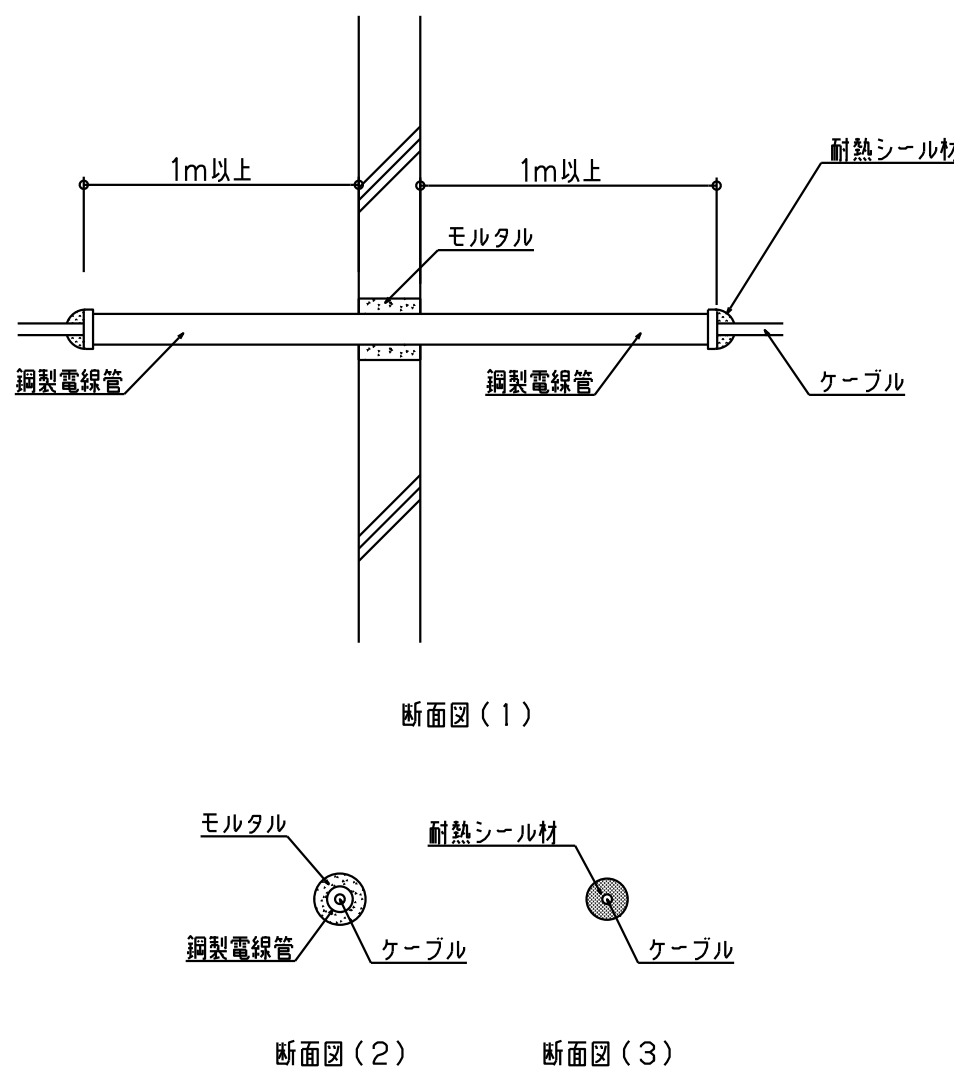
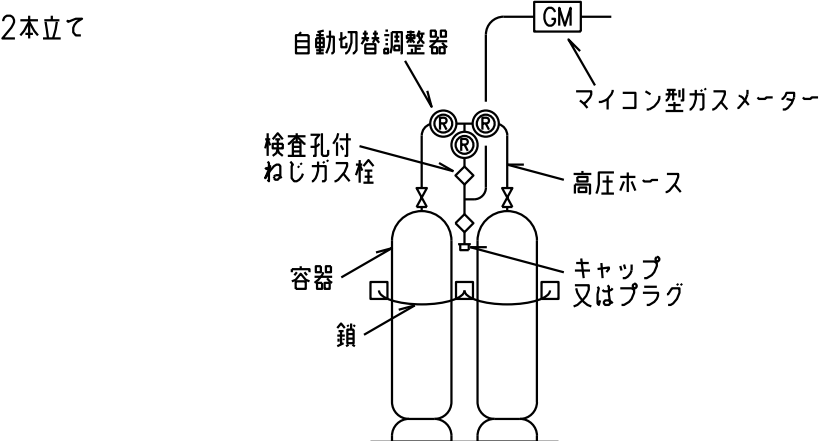
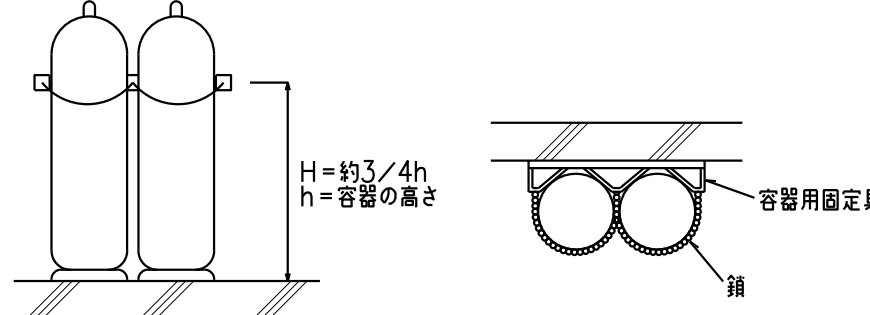
区分

図面番号

機械設備

M-217

基礎施工要領<コンクリート基礎及びアンカーボルト> S=N.S (a) 基礎の高さと配筋要領 D10-φ200 D10-φ200 D10-φ200 (1) コンクリート床に直立して設置する場合 (2) 床スラブとの間に定着筋を配筋する場合 (3) 床スラブと一体に配筋する場合 (b) アンカーボルトの取付要領 100以上 埋込アンカー 種族キアンカー (フライングパイプ使用の場合) コンクリート基礎の高さとアンカーボルトの適用例 <table><thead><tr><th rowspan="2">機 器 名</th><th rowspan="2">基礎の高さ H (mm)</th><th colspan="6">基礎及びアンカーボルトの適用例</th></tr><tr><th>(1)</th><th>(2)</th><th>(3)</th><th>(4)</th><th>(5)</th><th>(6)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ポンプ</td><td>標準基礎 300</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td></td><td>防振基礎 150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>送風機</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>空気調和機</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>ボイラー過水発生機及び冷凍機</td><td>150</td><td>×</td><td>×</td><td>△</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>パッケージ形空気調和機</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>受水タンク及び高置タンク</td><td>500</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>上記を兼ねたタンク類</td><td>150</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr></tbody></table> 注) イ。◎印を適用してよい。尚、△印は1階以下及び中間階に適用してよい。 △印は1階以下に適用してよい。 ロ。(2)の、定着筋の埋込長さしは、定着筋径dの35倍以上とする。 ハ。接着系アンカーは◎印と△印に適用してよい。	機 器 名	基礎の高さ H (mm)	基礎及びアンカーボルトの適用例						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	ポンプ	標準基礎 300	○	△	◎	△	◎	△		防振基礎 150	○	△	◎	△	◎	△	送風機	150	○	△	◎	△	◎	△	空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△	ボイラー過水発生機及び冷凍機	150	×	×	△	×	×	×	パッケージ形空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△	受水タンク及び高置タンク	500	×	×	×	×	×	×	上記を兼ねたタンク類	150	×	×	×	×	×	×	冷却塔	150	○	△	◎	△	◎	△	受水槽廻り配管要領 S=N.S リレーユニット（室内） 防振板又は筒 マンホール 電磁弁用電極棒又は電極帯 通気口 BT20 緊急遮断弁 オーバーフロー管 電磁弁等20 GV20×3 定水位調整弁 CV又はBV 給水引込管 防虫網 GV又はBV 水接管 簡接排水口 排水口空欄 排水管 ポンプ吸込管 注) イ。ボールタップによる給水停止位置は、電磁弁等による停止位置よりも高くする。 ロ。排水口空欄は150mm以上とする。 ハ。特記がある場合はタンクに水栓を設ける。 ニ。緊急遮断弁は特記による。	機器廻り配管吊り及び支持要領 S=N.S (a) 防振継手を使用した機器 防振継手 <
機 器 名			基礎の高さ H (mm)	基礎及びアンカーボルトの適用例																																																																																				
	(1)	(2)		(3)	(4)	(5)	(6)																																																																																	
ポンプ	標準基礎 300	○	△	◎	△	◎	△																																																																																	
	防振基礎 150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																	
送風機	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																	
空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																	
ボイラー過水発生機及び冷凍機	150	×	×	△	×	×	×																																																																																	
パッケージ形空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																	
受水タンク及び高置タンク	500	×	×	×	×	×	×																																																																																	
上記を兼ねたタンク類	150	×	×	×	×	×	×																																																																																	
冷却塔	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																	

電気温水器廻り要領		S=N.S	小口径ビニル施工要領		S=N.S	建築物滲入部の変位吸収配管要領		S=N.S	冷媒管樹脂製ケース要領		S=N.S	冷媒管ステンレスカバー・溶融アルミニウム垂鉛鉄板カバー要領		S=N.S															
			小口径塩ビインパート樹脂施工要領 		小口径塩ビ樹脂防護蓋施工要領 		スリークッション（50A以下） 			保温化粧ケース（屋内・屋外） <table border="1"><tr><td>保温化粧ケース</td></tr><tr><td>ビニール粘着テープ（1mにつき1箇所2回巻）</td></tr><tr><td>鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）</td></tr><tr><td>断熱材被覆鋼管</td></tr></table> 		保温化粧ケース	ビニール粘着テープ（1mにつき1箇所2回巻）	鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）	断熱材被覆鋼管	屋外露出 <table border="1"><tr><td>ステンレス鋼板・溶融アルミニウム垂鉛鉄板</td></tr><tr><td>ポリエチレンフィルム（1/2重ね巻き）</td></tr><tr><td>鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）</td></tr><tr><td>グラスウール保温材</td></tr><tr><td>断熱材被覆鋼管</td></tr></table> 			ステンレス鋼板・溶融アルミニウム垂鉛鉄板	ポリエチレンフィルム（1/2重ね巻き）	鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）	グラスウール保温材	断熱材被覆鋼管						
保温化粧ケース																													
ビニール粘着テープ（1mにつき1箇所2回巻）																													
鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）																													
断熱材被覆鋼管																													
ステンレス鋼板・溶融アルミニウム垂鉛鉄板																													
ポリエチレンフィルム（1/2重ね巻き）																													
鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）																													
グラスウール保温材																													
断熱材被覆鋼管																													
			小口径塩ビ樹脂化粧蓋施工要領 							注）制御線は、冷媒管共巻とする。		注）制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。																	
冷媒管屋内保温要領			S=N.S	冷媒管屋内保温（隠べい）要領		S=N.S	冷媒配管支持要領		S=N.S	ダクトの防火区画貫通部施工要領		S=N.S	配管の防火区画貫通部施工要領（不燃材料）		S=N.S														
屋内露出 <table border="1"><tr><td>機械室・車庫・倉庫</td><td></td></tr><tr><td>合成樹脂カバー</td><td>アルミガラスクロス</td></tr><tr><td>鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）</td><td>原紙（重ね幅30mm以上） 鉄線</td></tr><tr><td>グラスウール保温材</td><td>（1mにつき1箇所以上2回巻締め）</td></tr><tr><td>断熱材被覆鋼管</td><td>断熱材被覆鋼管</td></tr></table> 			機械室・車庫・倉庫		合成樹脂カバー	アルミガラスクロス	鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）	原紙（重ね幅30mm以上） 鉄線	グラスウール保温材	（1mにつき1箇所以上2回巻締め）	断熱材被覆鋼管	断熱材被覆鋼管	S=N.S	屋内隠べい <table border="1"><tr><td>ビニル粘着テープ ※1 （1mにつき1箇所2回巻）</td><td></td></tr><tr><td>断熱材被覆鋼管</td><td></td></tr></table> 		ビニル粘着テープ ※1 （1mにつき1箇所2回巻）		断熱材被覆鋼管		S=N.S			S=N.S	(a) 長方形ダクト (b) 丸ダクト 		S=N.S	(a) 貫通部において保温が必要な配管 (b) 貫通部において保温が不要な配管 		S=N.S
機械室・車庫・倉庫																													
合成樹脂カバー	アルミガラスクロス																												
鉄線（1mにつき1箇所以上2回巻締め）	原紙（重ね幅30mm以上） 鉄線																												
グラスウール保温材	（1mにつき1箇所以上2回巻締め）																												
断熱材被覆鋼管	断熱材被覆鋼管																												
ビニル粘着テープ ※1 （1mにつき1箇所2回巻）																													
断熱材被覆鋼管																													
			注）制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ（t=0.2mm）				150以上		注）イ. 矩形の防火ダンパーは、4本吊りとする。 但し、長辺が300mm以下の場合は2本吊りとする。 ロ. 丸形の防火ダンパーは、4本吊りとする。 但し、内径が300mm以下の場合は2本吊りとする。		注）イ. 不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする。 ロ. 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱着防止措置を施す。 ハ. 不燃材料以外のスリーブ材（紙製板状等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。																		
配管の防火区画貫通部施工要領（不燃材料以外）			S=N.S	ケーブルの防火区画貫通部施工要領		S=N.S	液化石油ガス容器廻り配管・転倒防止施工要領		S=N.S																				
不燃材料以外の配管が、「建築基準法施行令第112条第20項」に規定する防火区画を貫通する場合（「建築基準法施行令第114条第5項」に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁を貫通する場合も同様）（「火気使用室」防火用主要な間仕切壁、「法35条の3」無窓居室壁を貫通する場合も同様） 不燃材料以外（冷媒管・さや管・樹脂管・ケーブル等） 			建築基準法施行令第129条の2の4第1項7号イ 規定 			(a) 2本立て 			(a) 壁に支持できる場合 容器用固定具は、アンカーボルト（鉄筋に繫結）又はおねじ形メカニカルアンカーで、壁に固定する。 																				
注）イ. 建築基準法令において1時間耐火性能満たし、国土交通大臣認定材料を使用すること。 ロ. 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱着防止措置を施す。 ハ. 不燃材料以外のスリーブ材（紙製板状等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。			断面図（1） 断面図（2） 断面図（3）			注）イ. 壁に支持できる場合は、容器用固定具を用いて、容器を固定する。 ロ. 容器は一本ごとに鎖掛けし、鎖は容器用固定具の先端部分に取り付ける。 ハ. 浸水のおそれがある場合は、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施工規則の例示基準」の「充てん容器等の転落、転倒等による衝撃及びバルブ等の損傷を防止する措置並びに充てん容器等の流出を防止する措置」による。																							

特記

工事名称
東株父村新庁舎建設工事
図面名称
施工要領図(2)

図面尺度

日付

区分

図面番号

機械設備

M-302